

Corel® Painter® 2022

PAINTER 2022 のご紹介



Corel® Painter® 2022 基本情報ガイド

Corel、Corel Balloon のロゴ、Corel のロゴと Balloon のロゴとの組み合わせ、Painter、CorelDRAW、Natural-Media、PaintShop、RealBristle、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、および / またはその他の国における Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。Apple、Apple Pencil、Core ML、Mac、MacBook Pro、macOS、Sidecar、および Touch Bar は、Apple Inc. の商標です。

macOS は Apple Inc. の商標です。

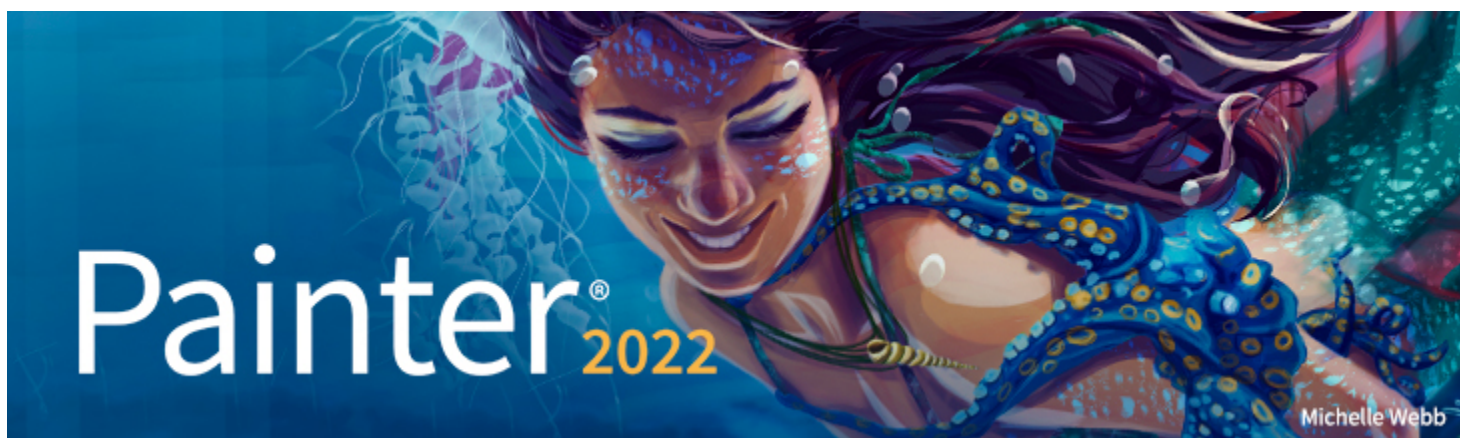
その他の製品、フォント、企業名、ロゴは、それぞれの企業の商標または登録商標です。第三者に関連するブランド、名前、ロゴ、その他の情報、画像、または資料の使用は、承認を意味するものではありません。当社は、そのような第三者の情報、画像、資料、マーク、および他者の名前に対する所有権を否認します。特許: www.corel.com/patent

サンプルのアートワークは、Corel の関連企業ではないサードパーティにより作成されており、許可を得て使用されています。

製品の仕様、価格設定、パッケージング、技術サポート、および情報（「仕様」）は、英語の小売バージョンのみを参照しています。他のすべてのバージョン（他の言語バージョンを含む）の仕様は異なる場合があります。

目次

Corel Painter 2022.....	3
Corel Painter 2022 の新機能.....	4
作業領域の概要.....	13
作業領域レイアウトを選択する.....	15
ブラシを選択/変更する.....	17
ツールボックスについて.....	23
パネルとパレットについて.....	27
ワークフローを選択する.....	33
その他のリソース.....	45



Corel Painter 2022

Corel(R) Painter(R) 2022 は究極のデジタル アート スタジオです。その画期的な描画ツール、リアルなブラシ、クローン作成機能、カスタマイズ可能な機能により、これまでにないエキサイティングな手法で、より創造性の高い表現が可能になります。Corel Painter の感圧ブラシを使用すると、自分の手の延長のようななめらかな動きで、驚くほどの高い質感や正確さを持ったブラシストロークが実現できます。さらに、独自の Natural-Media(TM) ブラシを作成し、ブラシとキャンバスとの反応をカスタマイズすれば、多様な方法で芸術的なアイデアを発展させることができます。Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。



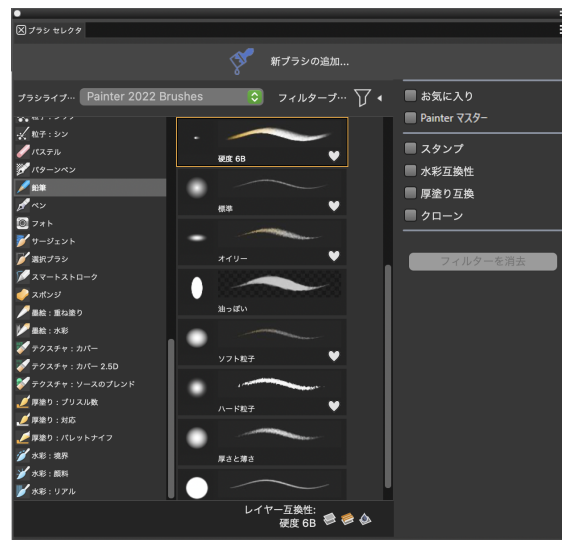
Corel Painter 2022 で作成されたイメージアートワーク作成者 Yann LeGuen

Corel Painter 2022 の新機能

新機能! ブラシ ライブラリの体験

Corel Painter 2022 に触れて最初に気づくのは、新しいブラシ ライブラリでしょう。あらゆる面が、細心の注意を払ってオーバーホールされました。すべてのブラシ カテゴリに対し、新しく、モダンなアイコンがデザインされました。そしてカテゴリ自体が、名前の変更、再編成、合理化により、いっそう目的のはっきりした、ブラシとツールの多彩なセットに生まれ変わりました。

カテゴリ内では、ブラシごとの形状の定義とメディアの特性を正確に反映する新しいバリエーション名、描点プレビュー、ストロークプレビューが用意されました。この新しいブラシ コレクションは、Painter 11、2015、2021 に含まれていた、多くの従来式バリエーションおよびナチュラル メディア ブラシ ライブラリをまとめ上げたものです。これらには最新の、そして最高のブラシ エンジン テクノロジーを利用したファインチューニングが施されています。



当社ではまた、多くの **Painter マスター** の意見から、どのブラシが最も高く評価されているかを学び、まさにそれらのブラシに基づくライブラリを選び出すための、ワンクリックのフィルタを準備しました。それらのブラシは 180 を超えています。このプロセスでは、多くのアーティストによるテストが行われ、ブラシの設定を最適化するのに役立ちました。加えて、新しい**水彩墨絵**カテゴリは、水彩と互換性を持っており、極めてクリエイティブな可能性を提供します。**ブレイブ油彩**カテゴリは、特別なレイヤー、**インパスト**、またはメディアの設定を必要としない、興味をそそる油彩ブラシとブレンドを特徴としています。

最後の点として、すべての Painter 2022 ブラシには調整が加えられ、新しい**強化塗潰し**手法、レイヤー ブレンド、スムージング オプション、および描点タイプ アンチエイリアスなど、ブラシ エンジン テクノロジーの発展を活用できるようになりました。マウスとスタイラスのどちらをお使いの場合でも、パフォーマンスの向上を実感し、なめらかに動作するブラシの使い心地を楽しまれるに違いないと確信しています。ではどうぞ、ブラシを手にとって、ペイントを始めてください！

新機能と機能強化! 「塗潰し」手法

「塗潰し」手法は用途が広く、[アクリル]、[チョーク]、[木炭]、[コンテ]、[グワッシュ]、[パステル]、および [ペン] といった、人気のある多数のブラシ カテゴリの基礎となっています。また、「塗潰し」手法は、一部の [油彩] および [ブレンド]、および多くのスタンプ タイプ ブラシでも使用されています。

Painter 2022 でのみ利用可能な**「強化塗潰し」**手法は、ブラシ体験を向上させるため、最新のテクノロジーの進歩を活用しています。「フラット」手法ではアンチエイリアシングのサポートが強化されて、不透明な描点のレンダリングが生成されるようになりました。すべての**「強化塗潰し」**手法に、不自然さを抑えるための意図的なノイズが追加されました。この点は、輪郭を柔らかく描く**「ソフト」**ブラシストロークで特に顕著です。

「アルファ ブレンド」テクノロジーが追加され、ブラシストロークに隣接したブレンドでのカラーの精度が改善されました。エッジの近くで、予期しない色ずれが発生する可能性が小さくなっています。**「粒子感」**手法には、粒子感のコントロールと不透明度のための

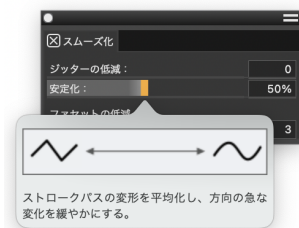
オプションが追加され、レイヤー ブレンドが強化されました。加えて、すべての「強化塗潰し」手法にブラシ ローディングのサポートが追加されて、ブラシストロークで染みや油っぽさの効果を表現できるようになりました。

「べた塗り」ブラシ（「ペン」カテゴリ）は改善されたアンチエイリアスの優れた例です。「ソフト」バリエーション（「エアブラシ」）は、不自然さを最小限に抑えて、ペイントのスムーズな重ね塗りを実現します。「アルファ ブレンド」テクノロジーによる色精度の向上を実感するため、[ソフト] エアブラシで [不透明度] を 1%、[補充量] を 85%、[にじみ] を 34% に設定し、2 色をブレンドしてみることができます。

新しい「粒子感エッジ フラット アルファ ブレンド」サブカテゴリの機能を十分に示すものとして、粒子の相互作用を強くしたうえで、[色こすり] バリエーション（[コンテ] ブラシ カテゴリ）を使い、染みになるブラシストロークを描いてみてください。詳しくは、製品ヘルプの「一般コントロール: 手法とサブカテゴリ」を参照してください。

新機能と機能強化! スムージング

新しい[ジッター減少] オプションは、[スムージング] 関連のコントロールをまとめたものです。既存のオプションも、その効果がよりわかりやすくなるよう、名前が更新されています。パネルのツールチップとグラフィックも更新されており、ブラシストロークの外見をより簡単にソフトにできるようになりました。スムージングについて詳しくは、「スムージング コントロール」を参照してください。



[スムージング] ブラシ コントロール パネルの新しい [ジッター減少] オプション

スムーズ化コントロールを調整するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [ブラシ形状] ▶ [スムーズ化] を選択します。
- 2 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
ジッターを抑えてストロークをスムーズにする	[ジッター減少] スライダーを右に動かして、小スケールのジッターを最小にします。値を高くすると、ストロークがスムーズになります。
安定化の調整	ギザギザのストロークを滑らかにするには、[安定化] スライダーを右にドラッグし、ストローク上のポイント間のギザギザを残すには、スライダーを左にドラッグします。
パス ポイントを追加して、ストロークを滑らかにするには	ポイントを追加して、ギザギザのストロークを滑らかにするには、[ファセット減少] 領域の [ポイント] スライダーを右にドラッグします。ポイント数を減らすには、スライダーを左にドラッグします。

新機能! ブラシ フィルタとお気に入り

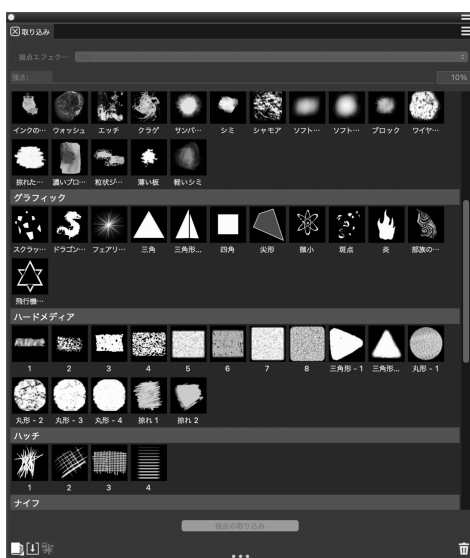
お気に入りのブラシのリストを作り、[お気に入り] フィルタを使えば、ブラシ ライブラリを自分が本当に必要としているものだけにすることができます。[Painter マスター] フィルタを使えば、優れた Painter アーティストによって選び抜かれたブラシから学べます。また、スタンプ タイプ、水彩およびシック ペイント互換、およびクローン ブラシを即座に選び出すことができます。ブラシの

フィルタリングについて詳しくは、20 ページの「[ブラシをお気に入りとしてマークする](#)」および19 ページの「[ブラシのフィルタリング](#)」を参照してください。

新機能! 取り込んだ描点のライブラリ

新しい**[取り込み]** パネルを使えば、ブラシ描点の外見を変える実験を行うことができ、無限の可能性が広がります。12 の新しい取り込んだ描点のライブラリがあります。**[プリスル]**、**[コンセプト]**、**[フラット]**、**[一般]**、**[グラフィック]**、**[ハードメディア]**、**[ハッチ]**、**[ナイフ]**、**[ライト]**、**[ナチュラル]**、**[飛沫]**、および **[スポンジ]** です。ブラシの描点シェイプの変更、設定の調整、新しい描点効果の適用、さらには他のブラシで使用するための新しい描点の取り込みは、即座に行えます。

また、JPEG または PNG イメージをインポートすること、取り込んだ描点として使用するために独自のシェイプを作成することができます。また、複数のレイヤーからのコンテンツを含め、書類のどの部分でも選択し、描点として使用することができます。さらに、現在のブラシを、いつでも描点として即座に取り込むことができます。これは、まだ取り込んだ描点のライブラリに入っていない描点がブラシに含まれている場合に、非常に役立ちます。**[取り込み]** パネルについて詳しくは、「[取り込んだ描点のコントロール](#)」を参照してください。



[取り込み] パネル

[取り込み] パネルを表示するには

- **[ウィンドウ]** ▶ **[ブラシ コントロール パネル]** ▶ **[ブラシ形状]** ▶ **[取り込み]** を選択します。

取り込んだ描点を選択するには

- **[取り込み]** パネルで、取り込んだ描点のアイコンをクリックします。

取り込んだ描点のライブラリを選択するには

- **[取り込み]** パネルで、**[ライブラリの管理]** フライアウト ボタン  をクリックし、▶ **[取り込んだ描点のライブラリ]** をクリックして、以下のオプションのいずれかを選択します。

- **プリスル**

- **コンセプト**

- **フラット**

- **一般**

- **グラフィック**

- **ハードメディア**

• ハッチ

• 明るい


• 飛沫

• ナイフ


• ナチュラル

• スポンジ

ブラシからの取り込んだ描点を保存するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 **[ブラシ]** ▶ **[描点を取り込んだ描点のライブラリに保存する]** を選択します。



また、**[取り込み]** パネルの **[取り込んだ描点のライブラリに保存する]** ボタン  ([ウィンドウ] ▶ **[ブラシ コントロール パネル]** ▶ **[ブラシ形状]** ▶ **[取り込み]**) をクリックして、現在選択しているブラシから取り込んだ描点を保存することができます。

新機能! Photoshop ブラシ スタンプ (ABR) を描点としてインポートする

Photoshop ブラシ スタンプを Painter 2022 でインポートするとき、ブラシ スタンプだけをインポートするオプションを選択できるようになりました。描点は新しい取り込んだ描点のライブラリに追加されるので、他のブラシとともに使用できます。

Photoshop のブラシ スタンプをインポートするには

- 1 **[ブラシ]** ▶ **[インポート]** ▶ **[Photoshop ブラシスタンプ (ABR) から新規作成]** をクリックします。
- 2 ABR ファイルが保存されているフォルダを参照し、ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。
- 3 **[Photoshop のブラシ スタンプのインポート]** (ABR) ダイアログ ボックスで、以下の表に示す作業を実行します。

目的

描点シェイプだけをインポートする

ABR ブラシ スタンプごとにブラシを作成する

操作内容

[描点シェイプだけをインポートする] を選択します。**[インポート]** をクリックします。

描点は新しい取り込み描点ライブラリに追加されるので、他のブラシとともに使用できます。取り込んだ描点について詳しくは、[6 ページの「新機能! 取り込んだ描点のライブラリ」](#)を参照してください。

[Painter がインポートできる ABR ブラシ スタンプごとに基本ブラシを作成する] を選択します。**[インポート]** をクリックします。新しいブラシ カテゴリの名前を入力して、**[OK]** をクリックします。



ピクセルベース ブラシのブラシ スタンプのみをインポートできます。

新機能! 描点効果

プロパティ バーの新しい**【取り込んだ描点】** フライアウトにより、取り込まれた描点をカスタマイズするための**描点効果**を使うことができます。**【境界ぼかし】**、**【しきい値】**、**【ブラー】**、**【膨張】**、および**【侵食】** 効果から選び、適用する効果ごとに強度を調整することができます。**【取り込み】** パネルについて詳しくは、6 ページの「**新機能! 取り込んだ描点のライブラリ**」を参照してください。



描点効果を適用するには

- 1 **【取り込み】** パネルで **【描点効果】** リスト ボックスをクリックし、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **境界ぼかし** — ブラシストロークのエッジをソフトにします
 - **しきい値** — 指定した値よりも不透明度が下であるピクセルをブラシストロークから除きます
 - **ブラー** — ピクセルとエッジをスムージングして、ブラシストロークをソフトにします
 - **膨張** — ブラシストロークのピクセルとエッジを膨張させます
 - **侵食** — ブラシストロークのピクセルとエッジを収縮させます
- 2 **強度** スライダを調整して、描点効果に適用される割合を決定します。

新機能と機能強化! 円形描点タイプの描点タイプ

円形タイプのブラシのアンチエイリアスが改善されました。**【描点オプション】** フライアウトの新しい **【硬度】** スライダを使用してコントロールできます。描点タイプの不透明度を微調整して、ソフト エッジ、アンチエイリアスが適用されたくっきりとしたエッジ、さらにはその中間のエッジを持つブラシ マークを作成できます。加えて、新しい**ソフト プロファイル**も試せます。中央に密度が高い部分がまとまっており、端に向かってゆっくりと密度が減少するものです。これらに劣らず重要なものとして、水彩描点の中心の不透明度を下げるができるようになりました。ストロークのエッジに沿って、はっきりしたフリンジが得られます。描点タイプについて詳しくは、「**描点タイプの変更**」を参照してください。

ブラシ チップのタイプを選択するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシ バリエーションを選択します。
- 3 プロパティ バーの **【描点オプション】** フライアウト ボタン  をクリックします。

取り込み描点タイプを使用するブラシを選択した場合には、**【描点タイプを適用】** チェック ボックスをオンにします。
- 4 ブラシ チップのタイプのアイコンをクリックします。

円形描点タイプを使用するブラシを選択した場合には、**【硬度】** スライダを動かして、描点タイプの不透明度を調整します。





硬度を調整できるのは、山形、ミディアム、ソフト、丸形、1 ピクセル エッジ、および水彩描点タイプのいずれかを使用する円形ブラシだけです。

新機能! スタティック ブリスルの回転と厚み

スタティック ブリスルのブラシやスタイラスでペイントするときに、追加のシェイプ オプションを指定できるようになりました。**【角度】** コントロールを使用して、ブラシの回転と厚みを指定できます。新しくクリエイティブな描点とブラシストロークの可能性が広がります。スタティック ブリスル ブラシについて詳しくは、「**スタティック ブリスルのコントロール**」を参照してください。

スタティック ブリスル ブラシに厚みと回転を設定するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、スタティック ブリスル ブラシ バリエーションを選択します。
スタティック ブリスル ブラシは多くのカテゴリに含まれています。スタティック ブリスル バリエーションを見つけるには、**[ウィンドウ] ▶ [検索]** をクリックして、「スタティック ブリスル」と入力します。
- 3 プロパティ バーの **[サイズ]** フライアウト ボタン  をクリックします。
- 4 **[角度刻み]** を 5° に設定します。
- 5 **[角度範囲]** を 360° に設定して、どの向きにでもストロークを描けるようにします。
- 6 **[表現]** リスト ボックスの **[角度]** 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **ヘアリング**
 - **方向**
 - **回転**
- 7 **[厚み]** を 30% に設定します。



新機能! 水彩の互換性

Painter 2022 は、水彩と他の絵画形式を組み合わせたいと望む、ミックスメディアのクリエイターのため、境界を取り除きました。デフォルトのブラシの多くが水彩レイヤーと互換になりました。同じレイヤーで、ドライ メディアと水彩ブラシ マークの両方を使用できます。水彩メディアと組み合わせるブラシを選ぶときに、ブラシ セレクタの **[レイヤー互換性]** アイコンを確認してください。または、**[水彩互換]** フィルタを有効にすれば、そのようなブラシだけが表示されます。また、創造力を柔軟に発揮するための助けとして、水彩レイヤーを、特別なメディアの機能を保持したまま、変換できるようになりました。

新機能! サイズ セレクタとライブラリ

新しい **[サイズ]** ライブラリから、ブラシ サイズのプリセットを選択できるようになりました。Painter 2022 は、新たに描点サイズのコレクションを提供するようになりました。また、自分自身のカスタム サイズ プリセットを作成して管理することもできます。**[サイズ]** ライブラリについて詳しくは、「[サイズのコントロール](#)」を参照してください。

ブラシ サイズ プリセットを選択するには

- プロパティ バーで **[サイズ]** フライアウト ボタン  をクリックし、**[サイズ ライブラリ]** ボタン  をクリックし、**[ブラシ サイズ]** パネルのプリセットをクリックします。



ブラシ サイズ プリセットを管理するには

- **[サイズ ライブラリ]** パネル (**[ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [ブラシ形状] ▶ [サイズ ライブラリ]** で、以下の表のタスクを実行します。

目的

プリセットを追加する


操作内容

ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。[ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエーションを選択します。プロパティ バーで、**[サイズ]** スライダーを動かすか、**[サイズ]** ボックスに値を入力します。ブラシ サイズを決めたら、**[サイズ プリセットを追加]** ボタン  (**[サイズ ライブラリ]** パネル) をクリックします。

目的

プリセットを削除する

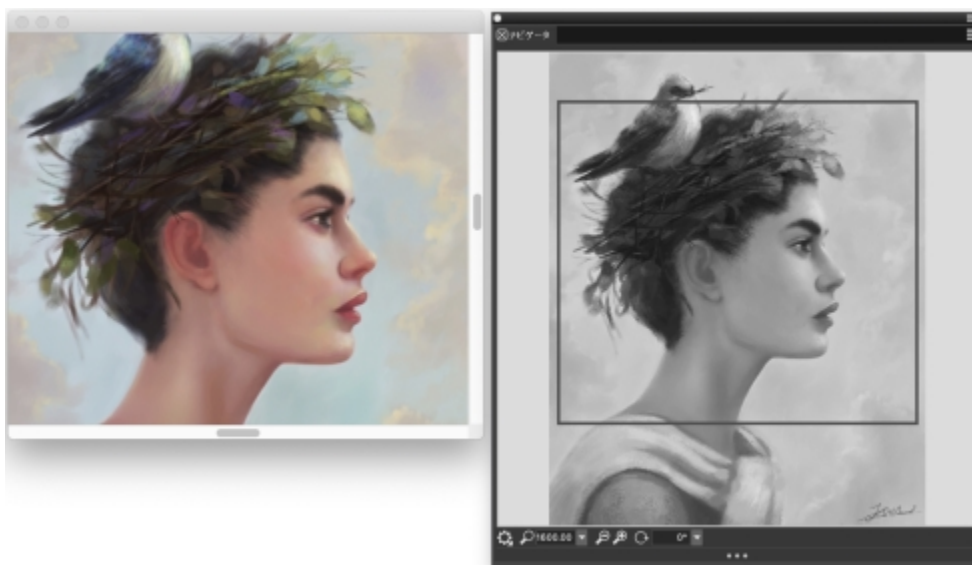
操作内容

プリセットをクリックし、**[サイズ プリセットを削除]**  ボタンをクリックします。

ヒント: また、プリセットを選択し、プリセットを右クリック (Windows) または Control クリック (macOS) し、**[サイズ プリセットを削除]** を選択してプリセットを削除することもできます。

新機能! グレースケールのナビゲータ

ナビゲータをグレースケールに切り替えることができるようになりました。作品でカラー値を調べる際に役立ちます。ナビゲータについて詳しくは、「**イメージの移動とイメージ情報の表示**」を参照してください。



デザインの色のコントラストを評価するには、**[ナビゲーション]** でイメージをグレースケールで表示します。

[ナビゲーション] パネルを表示するには

- 1 **[ウィンドウ] ▶ [ナビゲーション]** を選択します。
- 2 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

倍率を調整せずに、イメージの別の領域に移動する

書類ウィンドウで特定の拡大率にズームする

書類ウィンドウでイメージを回転する

操作内容

[ナビゲーション] パネルで、キャンバスプレビューの他の場所をクリックします。


[キャンバスのズーム] リスト ボックスを開き、ズーム レベルスライダを調整します。

[キャンバスの回転] リスト ボックスを開き、回転スライダを調整します。

目的

イメージをグレースケールで表示する

操作内容

[ナビゲーション] パネルで、[ナビゲーション オプション] ボタン  をクリックし、[グレースケールで表示] をクリックします。

新機能と機能強化! レイヤーの生産性

Painter 2022 では、レイヤー生産性のための改善が数多く導入されました。レイヤー作業の多い書類での作業を速めるためにデザインされたものです。複数のレイヤーでの操作はより速く、より簡単になりました。複数のレイヤーをまとめてロック、移動、変換すること、また可視レイヤーを結合することができます。加えて、レイヤーのロックや表示状態に関する操作は「取り消し」ステップのために記録されるので、操作の変更が手早く、簡単に行えます。

新しいスポットライト レイヤーの表示オプションでは、[レイヤー] パネルの目のアイコンを **Option** クリック (macOS) または **Alt** クリック (Windows) することにより、あるレイヤーやグループのコンテンツだけを表示し、他のレイヤーを一時的に非表示にすることができます。また、選択したレイヤーのコンテンツをマスクにロードすることも簡単になりました。そして、選択したレイヤー コンテンツを移動する際には、それだけを移動できるようになりました。[レイヤー] パネルにレイヤー フローティング オブジェクトが表示されることはありません。加えて、新しいカラー覆い焼きとカラー焼き付け合成手法が、クリエイティブなオプションとして追加されました。また、レイヤーのコンテンツは、**Delete** キーを押すだけの 1 キーストロークでクリアできます。レイヤーの使用方法について詳しくは、「レイヤー」を参照してください。

レイヤーまたはキャンパスの表示/非表示を切り替えるには



- [レイヤー] パネルで、以下の表のいずれかのタスクを実行します。

目的



レイヤー、グループ、またはキャンパスのコンテンツの表示/非表示を切り替える

操作内容


レイヤー名またはキャンパスの隣にある目のアイコンをクリックします。

目が閉じていると ()、レイヤーは書類ウィンドウ内に表示されません。目が開いていると ()、レイヤーは書類ウィンドウ内に表示されます。

他のすべてのレイヤーを一時的に非表示にして、1 つのレイヤーまたはグループのコンテンツだけを表示する

レイヤーまたはレイヤー グループの隣にある目のアイコン  を **Alt** クリック (Windows) または **Option** クリックします。他のレイヤーの表示状態を変更していなければ、同じレイヤーの目のアイコン  をもう一度 **Alt** クリック (Windows) または **Option** クリック (macOS) すれば、元のレイヤーの表示設定に戻ります。ただし、目のアイコンを **Alt** クリック (Windows) または **Option** クリック (macOS) した後にレイヤーの表示状態を変更した場合には、すべてのレイヤーの表示設定を手動で元に戻す必要があります。

選択範囲に基づいてレイヤー マスクを作成するには

- ¹ [レイヤー] パネルでレイヤーを選択し、[新規レイヤーマスク] ボタン  をクリックして、空白のレイヤー マスクを作成します。
- 2 [レイヤー] パネルで、レイヤーのサムネイル アイコンをクリックして、レイヤーを選択します。
- 3 選択ツールを選択し、書類に選択範囲を作成します。

4 **[レイヤー]** パネルでレイヤー マスク アイコンを右クリックし、**[レイヤー マスクに選択範囲をロード]** をクリックします。

5 **[操作]** 領域で以下のいずれかのオプションを選択します。

- **[既存のマスクと入れ替え]** は、マスクを現在の選択範囲と入れ替えます。
- **[既存のマスクに追加]** は、現在の選択範囲とマスクを合成します。
- **[保存先のマスクから重なる部分を除外]** は、選択範囲がマスクと交差する領域を削除します。
- **[重なる部分だけをマスクとして残す]** はマスクと選択範囲が交差する領域をマスクとして保存します。



すでに選択範囲に基づいてレイヤー マスクを作成していて、選択範囲を調整する場合には、**[レイヤー]** パネルのレイヤーのアイコンをクリックしてレイヤーを選択し、書類で選択範囲を修正します。次に、**[レイヤー]** パネルでレイヤー マスクのアイコンを右クリックして **[レイヤー マスクに選択範囲をロード]** をクリックし、表示されるダイアログ ボックスでオプションを選択します。

また、**[レイヤー マスクに選択範囲をロード]** コマンドは、**[レイヤー]** メニュー (**[レイヤー]** ▶ **[レイヤー マスク]** ▶ **[レイヤー マスクに選択範囲をロード]**) および **[レイヤー]** パネル (**[レイヤー]** オプション ボタン ≡ ▶ **[レイヤー マスク]** ▶ **[レイヤー マスクに選択範囲をロード]**) でもアクセスすることができます。

レイヤーのコンテンツをクリアするには

- 1 **[レイヤー]** パネルで、クリアするレイヤーの名前をクリックします。
- 2 **Delete** キーを押します。



[レイヤー] パネルでレイヤーを選択し、**[レイヤー]** ▶ **[コンテンツのクリア]** をクリックして、レイヤーのコンテンツをクリアすることもできます。

[レイヤー] パネルでレイヤーを右クリックし、**[コンテンツのクリア]** を選択することでも、レイヤーのコンテンツをクリアできます。

機能強化! 特殊なレイヤーの互換性ダイアログ ボックス

多くのブラシは、特別レイヤーと互換性がありますが、選択したブラシにより、予期したのとは異なった印象のブラシ マークが描かれることもあります。また、単に現在のレイヤーには勤められないブラシもあります。このような場合、Painter からプロンプトが出されるため、どのように進めるかを決めることができます。これらのダイアログ ボックスはデザインし直されて、オプションが明確かつ簡潔に表示されるようになったので、選択にかかる時間は短くなり、アートの内容にすぐに戻ることができます。特殊なレイヤーの環境設定について詳しくは、「[特殊なレイヤーの環境設定](#)」を参照してください。

機能強化! パフォーマンスの最適化

Painter チームは、急速に変化するオペレーティング システムのテクノロジーを活用できるように、現在でもコードベースを更新し続けています。

Painter 2022 では、新しい「強化塗潰し」手法が、CPU と GPU のアクセラレーションに合わせて最適化されました。Brush Acceleratortm は、「強化塗潰し」手法を、AVX2 拡張命令をサポートするインテルのマルチコア プロセッサの場合は 18 倍、GPU のアクセラレーションと組み合わせた場合は 50 倍高速化します。強化塗潰しを使用するブラシを検索するには、**[ウィンドウ]** ▶ **[検索]** をクリックして、**[検索]** テキスト ボックスに「enhanced cover」と入力します。

デフォルトのレイヤーでのインパスト ブラシは最大 2 倍、シック ペイント レイヤーの場合には最大 1.7 倍高速化されます。加えて、他のいくつかのブラシ エンジン、プラグイン、消しゴムの場合、Painter 2021 の場合と比較して最大 2 倍高速化されます。

システムで Painter から最大限のパフォーマンスを引き出すには、Brush Accelerator を実行する必要があります。このユーティリティは、まず、お使いのプロセッサ (CPU) を分析して、コアがいくつあるか、そして AVX2 のような拡張命令をサポートしているかどうかを検出します。また、利用可能なグラフィック プロセッサ (GPU) があれば分析して、Painter との互換性を決定します。さら

にシステムに搭載されているメモリ (RAM) の量も判定します。Brush Accelerator について詳しくは、「[Brush Accelerator を使用して最適なパフォーマンスを達成する](#)」を参照してください。



Brush Accelerator がシステムを評価し、生成されるレポートでテスト結果を確認できます。

Brush Accelerator を実行するには

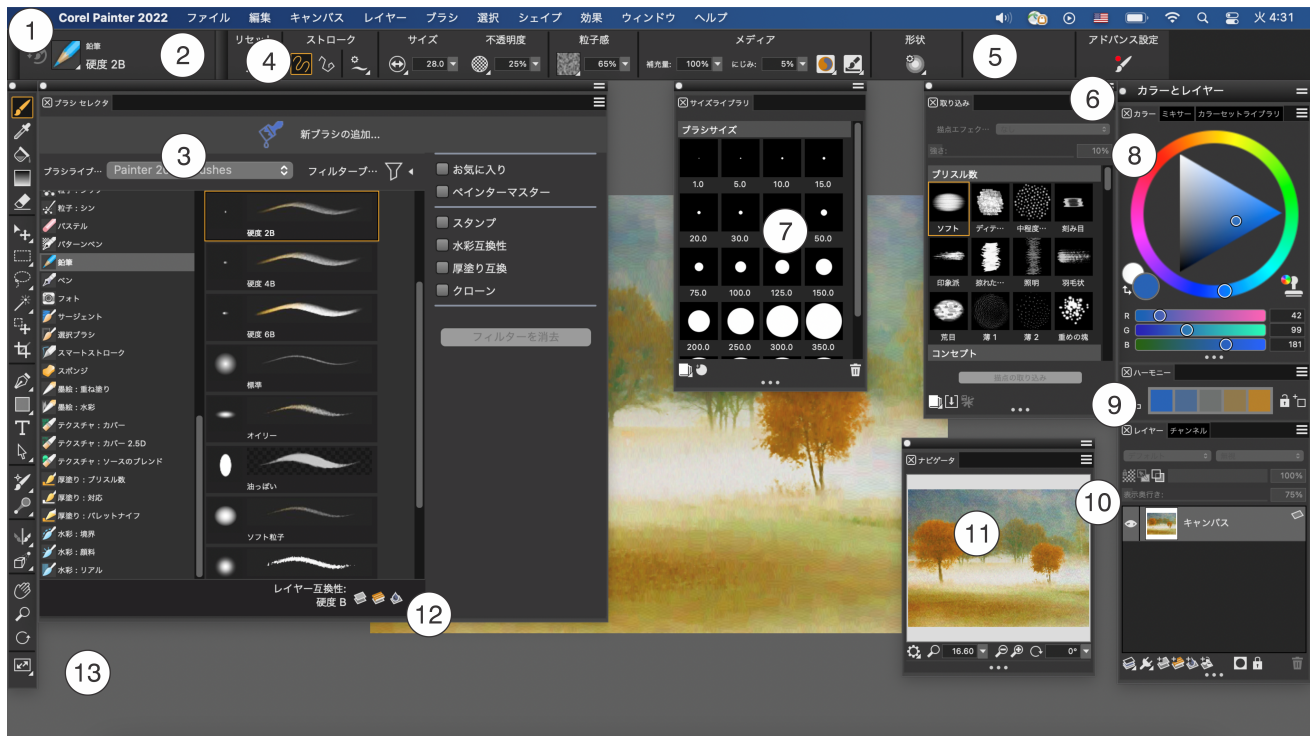
- 1 Welcome 画面で **[パフォーマンス]** タブをクリックします。
Welcome 画面が開いていない場合は、**[ヘルプ]** ▶ **[Welcome]** を選択します。
- 2 **[今すぐ最適化する]** をクリックします。
テストは、**Esc** キーを押していつでもキャンセルできます。



Brush Accelerator は **[環境設定]** ダイアログ ボックスの **[パフォーマンス]** ページ (macOS: **[Corel Painter 2022]** メニューの **[環境設定]** ▶ **[パフォーマンス]**、Windows: **[編集]** ▶ **[環境設定]** ▶ **[パフォーマンス]**) と **[パフォーマンス]** パネル (**[ウィンドウ]** ▶ **[ブラシ コントロール パネル]** ▶ **[パフォーマンス]**) から実行できます。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクト、パネル、およびインタラクティブ パレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、アプリケーションのウィンドウのメイン コンポーネントについて説明します。

コンポーネント

1. メニュー バー
2. ブラシ セレクタ バー
3. ブラシ セレクタ フライアウト
4. コマンド バー
5. プロパティ バー

説明

プルダウン メニュー オプションを使用して、ツールと機能にアクセスできます。

[ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。。前に使用したブラシ バリエーションにアクセスすることや、ブラシをお気に入りとしてマークすることもできます。

ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、ブラシ フィルタを適用して必要なブラシだけを表示したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、デフォルト レイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリエーションを即座に特定できます。ブラシ バリエーションの上にポインタを移動すると、ブラシ セレクタの下にあるブラシ名の横に対応するレイヤー互換性アイコンが表示されます。

コマンド バー ([ファイル/編集]、[キャンバス]、[フォト アート]) には、使用頻度の高いメニュー コマンドのショートカットであるボタンとコントロールが含まれています。

アクティブなツールやオブジェクトに関連するコマンドが表示されます。たとえば、**塗潰し** ツールがアクティブであれば、選択した領域を塗り潰すための各種コマンドがプロパティ バー上に示されます。プロパティ バーのコントロールは並べ替えて使

コンポーネント

6. 取り込んだ描点フライアウト

7. [サイズ ライブラリ] パネル

8. [カラー] パネル

9. [ハーモニー] パネル

10. [レイヤー] パネル

11. [ナビゲーション] パネル

12. キャンバス

13. ツールボックス

説明

いやすくできます。グループ ラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。

取り込んだ描点のライブラリと、ブラシの外観を変更するためのコントロールを表示します。取り込んだ描点を選択し、描点効果を適用してその強度を調整してから、ブラシの設定を新しい描点としてライブラリに取り込むことができます。

ブラシ サイズのプリセットを選択すること、サイズ プリセットを管理することができます。

カラーの選択と、選択したカラーに関する情報の表示ができます。

ハーモニー ルールを使用してカラー ハーモニーを作成できます。

レイヤーの階層を管理し、レイヤーの作成、選択、表示、固定、削除、名前の指定、グループ化を行うためのコントロールがあります。

ズームアウトせずに、イメージ全体をカラーまたはグレースケールで表示できます。**[ナビゲーション]** では、別のイメージエリアへの移動、ズーム レベルの変更、キャンバスの回転が行えます。

キャンバスとは、書類ウィンドウ内にある長方形の作業領域です。このサイズにより、作成されるイメージのサイズが決定します。キャンバスはイメージ背景としても機能し、レイヤーとは違って、常にロックされています。

イメージを作成、塗潰し、および変更するツールにアクセスできます。

作業領域レイアウトを選択する

作業領域レイアウト (「パレット配置」とも呼ばれます) は、パレットやパネルなどの作業領域の要素を特定のワークフローに応じて表示、非表示、および位置付けするものです。Corel Painter 2022 では、以下の作業領域レイアウトが提供されます。

作業領域レイアウト

Painter の新規ユーザー向け

Classic

デフォルト

説明

最も基本的なコントロールが **[ヒント]** パネルとともに表示され、Corel Painter をすぐに使い始めることができるようになります。

使い慣れた環境のままシームレスに移行したいと考える、以前のバージョンの Corel Painter のユーザーに最適です。

ほとんどのコンピュータで最適に動作するデフォルトの作業領域レイアウトです。詳細は、[13 ページの「作業領域の概要」](#)を参照してください。

作業領域レイアウト

説明

シンプル

ツールボックス、メニューバー、拡張プロパティバーを含む最小限のユーザーインターフェースを表示します

コンセプトアート

ブラシ、グラデーション、テクスチャのペイントコントロールに素早くアクセスできます。画面スペースを節約するために、ブラシとメディアパレットはパレット引き出しにわかりやすく分類されています。

イラスト

[参照イメージ] パネル、ブラシ、用紙、グラデーションを表示します

ファインアート

従来のメディアブラシと合成ツールに素早くアクセスできます

フォトアート

写真アーティストにより一般的に使用されるパレットが表示され、フォト、テクスチャ、ペイントのクローンを作成するために最適な設定が提供されます。

マンガアート

ブラシ、用紙、グラデーション、ブラシサイズ、不透明度コントロールに素早くアクセスできます

クイック切り替え機能を使用すると、2つの作業領域レイアウトを選択し、現在のタスクまたはデバイスの表示モードに応じて、それらを素早く切り替えることができます。この機能は、特にマルチモードまたはデュアルモードのデバイスを使用する場合に役立ちます。たとえば、デフォルトをレイアウト1として、シンプルをレイアウト2として選択すると、表示パネルをノートブックモードからタブレットモードに切り替えたときに、シンプル作業領域レイアウトが自動的に表示され、すっきりとした最小限のユーザーインターフェースを使用して作業できます。

作業領域レイアウトを選択するには

- **[ウィンドウ] ▶ [レイアウト]** を選択し、レイアウトを選択します。



Welcome スクリーンからレイアウトを選択することもできます。この場合は、**[設定]** をクリックしてレイアウトを選択します。

作業領域レイアウトを切り替えるには

- 1 **[ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウト 1]** をクリックし、レイアウトを選択します。
- 2 **[ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウト 2]** をクリックし、レイアウトを選択します。
- 3 レイアウト1とレイアウト2を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - デュアルモードまたはマルチモードのデバイスの表示パネルの位置を変更します (たとえば、ノートブックモードからタブレットモードに変更するなど)。
 - **[ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウトの切り替え]** をクリックします。



デフォルトの作業領域レイアウトやユーザーが作成したカスタム作業領域レイアウト間での切り替えも可能です。カスタム作業領域レイアウトを作成および保存する方法については、「**パネルとパレットを再配置する**」を参照してください。

ブラシを選択/変更する

Corel Painter 2022 にはブラシ バリエーションと呼ばれる、絵筆や筆記具のプリセットが多数用意されています。ブラシ バリエーションは、「エアブラシ」、「アーティスト オイル」、「カリグラフィ」、「ペン」、「鉛筆」、「リアル水彩」といった多数のカテゴリに分類して登録されています。一部のブラシ カテゴリは現実の画材に近くなるよう設定してありますので、名前から大体どのような描き味のブラシか予想がつけられます。ただしカテゴリによっては対応する現実の画材が存在せず、これまでにない斬新な表現力をデジタル アーティストに提供するブラシも存在しています (画期的な粒子ブラシなど)。

ブラシ セレクタでは、ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、さまざまな方法でブラシを整理し、表示することもできます。たとえば、ブラシにフィルタを適用して、必要なブラシだけが表示されるようにすることができます。また、ワークフローに合わせて、[ブラシ セレクタ] の表示/非表示を切り替えることもできます。たとえば、ブラシ ライブラリ セレクタ、最近使用したブラシ、ブラシ パック プロモーションなどの表示/非表示を切り替えることができます。

また、ブラシ セレクタを使用すると、デフォルト レイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩 レイヤーと互換性のあるブラシ バリエーションを即座に特定できます。ブラシ バリエーションの上にポインタを移動すると、ブラシ セレクタの下にあるブラシ名の横に対応するレイヤー互換性アイコンが表示されます。レイヤー互換性アイコンをクリックすると、このレイヤーでペイントするすべてのブラシ バリエーションを検索できます。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、ブラシ セレクタのメイン コンポーネントについて説明します。

コンポーネント

1. 前回使用したブラシ
2. ブラシセレクタ
3. お気に入りとしてマーク
4. ブラシ ライブラリ セレクタ

説明

- 前回使用したブラシ バリエーションにアクセスできます。
- [ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。
- 選択したブラシをお気に入りとしてマークすることができます。
- ブラシ ライブラリを選択できます。

コンポーネント

5.[ブラシ パック プロモーション] バー

6.[ブラシ ライブラリ] オプション ボタン

7.ブラシ パック セレクタ

8.[ブラシ フィルタ] ボタン

9.ブラシ カテゴリブラシカテゴリ

10.ブラシ バリエーション

11.[レイヤー互換性] アイコン

説明

ブラシ パック セレクタにアクセスしてブラシ パックを購入できます。

さまざまな方法でブラシを整理して表示するのに役立つコマンドにアクセスできます。

利用可能なブラシ パックを参照できます。

必要なブラシだけが表示されるように、ブラシ フィルタを適用できます。

ブラシ ライブラリ内のすべてのカテゴリを参照できます。ブラシ カテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。

カテゴリ内のブラシ バリエーションを参照できます。ブラシバリエーションとは、1 つのブラシカテゴリに含まれている特定のブラシとブラシ設定のことを指します。

デフォルト レイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリエーションを特定し、検索できます

Painter 2022 のブラシ ライブラリで、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリとは、類似するブラシやメディアのグループです。ブラシ バリエーションとは、ブラシ カテゴリに含まれている特定のブラシのことです。ブラシ セレクタは、フローティング パネルとして開いたままにしておくこともできます。こうすると、ペイント中にブラシに素早く簡単にアクセスできます。[ブラシ セレクタ] パネルにはコンパクト ビューとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、ブラシのカテゴリとバリエーションがどちらも表示されます。コンパクト ビューでは、ブラシ バリエーションだけが表示され、スクロールしなくてもより多くのブラシを一覧できます。



(左) コンパクト ビューでの [ブラシ セレクタ] パネル、(右) フル ビューでの [ブラシ セレクタ] パネル

ブラシ セレクタの表示/非表示を切り替えるには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

表示/非表示を切り替えるには

ブラシセレクト

[ブラシ セレクト] パネルがフル ビューで表示されます。

[ブラシ セレクト] パネルがコンパクト ビューで表示されます。


操作内容

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクト] ▶ [バー] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクト] ▶ [パネル (フル ビュー)] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクト] ▶ [パネル (コンパクト)] を選択します。

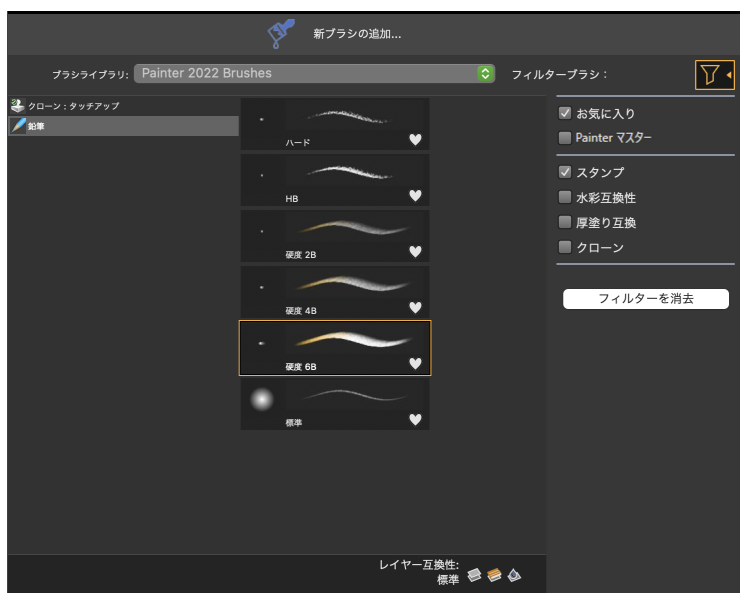
ブラシのカテゴリやバリエーションを選択する

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクト バーの [ブラシ セレクト] をクリックします。
- 3 ブラシ カテゴリとブラシ バリエーションをクリックします。

ブラシのフィルタリング

ブラシ フィルタを使えば、クリエイティブなタスクに必要なブラシだけを手元に置いておくことができます。たとえば、「シック ペイント互換」フィルタを使えば、シック ペイントと、シック ペイント互換のブラシだけを表示して、他のすべてのブラシはブラシ セレクトに表示されないようにすることができます。


Corel Painter には、「お気に入り」、「Painter マスター」、「スタンプ」、「水彩互換」、「シック ペイント互換」、および「クローン」といったブラシ フィルタが用意されています。ブラシの選択項目をさらに調整するため、同時に複数のフィルタを適用することもできます。たとえば、お気に入りの「水彩互換」ブラシだけが表示されるようにすることができます。




- 1 つ以上のブラシ フィルタを適用すれば、必要ではないブラシ カテゴリとブラシを非表示にすることができます。

1 つ以上のブラシ フィルタをクリアすれば、ブラシの選択項目を拡張できます。すべてのブラシ フィルタをクリアすれば、アクティブなブラシ ライブラリのすべてのブラシを表示できます。

ブラシをフィルタするには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。

- 2 ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- 3 [ブラシ セレクタ] フライアウトで **[ブラシ フィルタ]** ボタン  をクリックし、利用可能なブラシ フィルタ リストを表示します。
- 4 以下のいずれかのチェック ボックスをオンにします。


- **お気に入り** — お気に入りとしてマークしたブラシだけを表示します。お気に入りブラシについて詳しくは、[20 ページの「ブラシをお気に入りとしてマークする」](#)。を参照してください
- **Painter マスター** — Painter マスターによって高く評価され、使用されているブラシだけを表示します。
- **スタンプ** — 円形、取り込み、レンダリングされた円形、またはスタティック ブリスル描点タイプを使用するスタンプ タイプブラシだけを表示します。
- **水彩互換** — 水彩ブラシと水彩レイヤーで使用できるブラシだけを表示します。
- **シック ペイント互換** — シック ペイント ブラシとシック ペイント レイヤーで使用できるブラシだけを表示します。
- **クローン** — クローンとクローン着色ブラシだけを表示します。

ブラシ フィルタを適用しているときには、**[ブラシ フィルタ]** ボタンのアウトラインが白からオレンジに変わります



ブラシ フィルタは、表示されているブラシにのみ適用されます。非表示のブラシ カテゴリとブラシ バリエーションは非表示のままです。

フィルタをクリアするには

- [ブラシ セレクタ] フライアウトで **[ブラシ フィルタ]** ボタン  をクリックし、以下のいずれかを行います。
 - すべてのフィルタをクリアするには、**[フィルタのクリア]** をクリックします。アクティブなブラシ ライブラリに含まれているすべてのブラシ バリエーションとブラシ カテゴリが表示されます。
 - 特定のフィルタをクリアするには、そのフィルタのチェック ボックスをオフにします。

ブラシをお気に入りとしてマークする

ブラシをお気に入りとしてマークすれば、名前の隣に表示される [お気に入り] アイコンによって見つけやすくなります。ブラシ セレクタで選択したブラシをクリックして、お気に入りとしてマークできます。複数のブラシをお気に入りとしてマークする場合には、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルを使う方が簡単です。ブラシは、いつでもお気に入りのリストから削除できます。



選択したブラシ (左) は、ブラシ セレクタ バーではお気に入りとしてマークされている (右)

[お気に入り] フィルタを適用すれば、ブラシ セレクタにお気に入りのブラシだけが表示されます。

選択したブラシをお気に入りとしてマークするには

- ブラシ セレクタ バーで、ブラシ名の右にある、**[お気に入りとしてマーク]** アイコン  をクリックします。



また、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルで、ブラシを右クリックし、**[お気に入り]** をクリックして、ブラシをお気に入りとしてマークすることもできます。この方法は、複数のブラシをお気に入りとしてマークする場合に使用します。

選択したブラシをお気に入りのリストから削除するには

- ブラシ セレクタ バーで、ブラシ名の右にある、**[お気に入りから削除]** アイコン  をクリックします。



また、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルで、ブラシを右クリックし、**[お気に入り]** をクリックして、ブラシをお気に入りから削除することもできます。この方法は、複数のブラシをお気に入りから削除する場合に使用してください。

ブラシを検索する

現在選択しているブラシ ライブラリのコンテンツを素早く検索して、具体的な指定に一致するブラシを見つけられます。検索を実行するには、1 つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。たとえば、「鉛筆 リアル」という検索語句を入力すると、「リアル鉛筆」ブラシ バリエーションのすべてのリストが生成されます。

ブラシ バリエーションを検索するには

- 1 検索バー ([**ウィンドウ**] ▶ [**検索**]) で、**[検索]** テキスト ボックスに 1 つのブラシ属性または属性の組み合わせを入力します。
- 2 リスト内のブラシ バリエーションの上にマウスを置くと、フライアウトの下部にブラシストロークのプレビューが表示されます。
- 3 リストからブラシ バリエーションを選択します。



検索バーは、デフォルトではクラシック レイアウトにおいてのみ、プロパティ バーの右側、書類ウィンドウの右上隅に表示されます。検索バーをその他すべてのレイアウトで表示するには、**[ウィンドウ] ▶ [検索]** をクリックします。



検索語として「GPU」、「AVX2」、「マルチコア」などと入力すると、これらのテクノロジーを活かすブラシを検索できます。

以前検索バーを非表示にした場合は、**[ウィンドウ] ▶ [検索]** をクリックして表示できます。

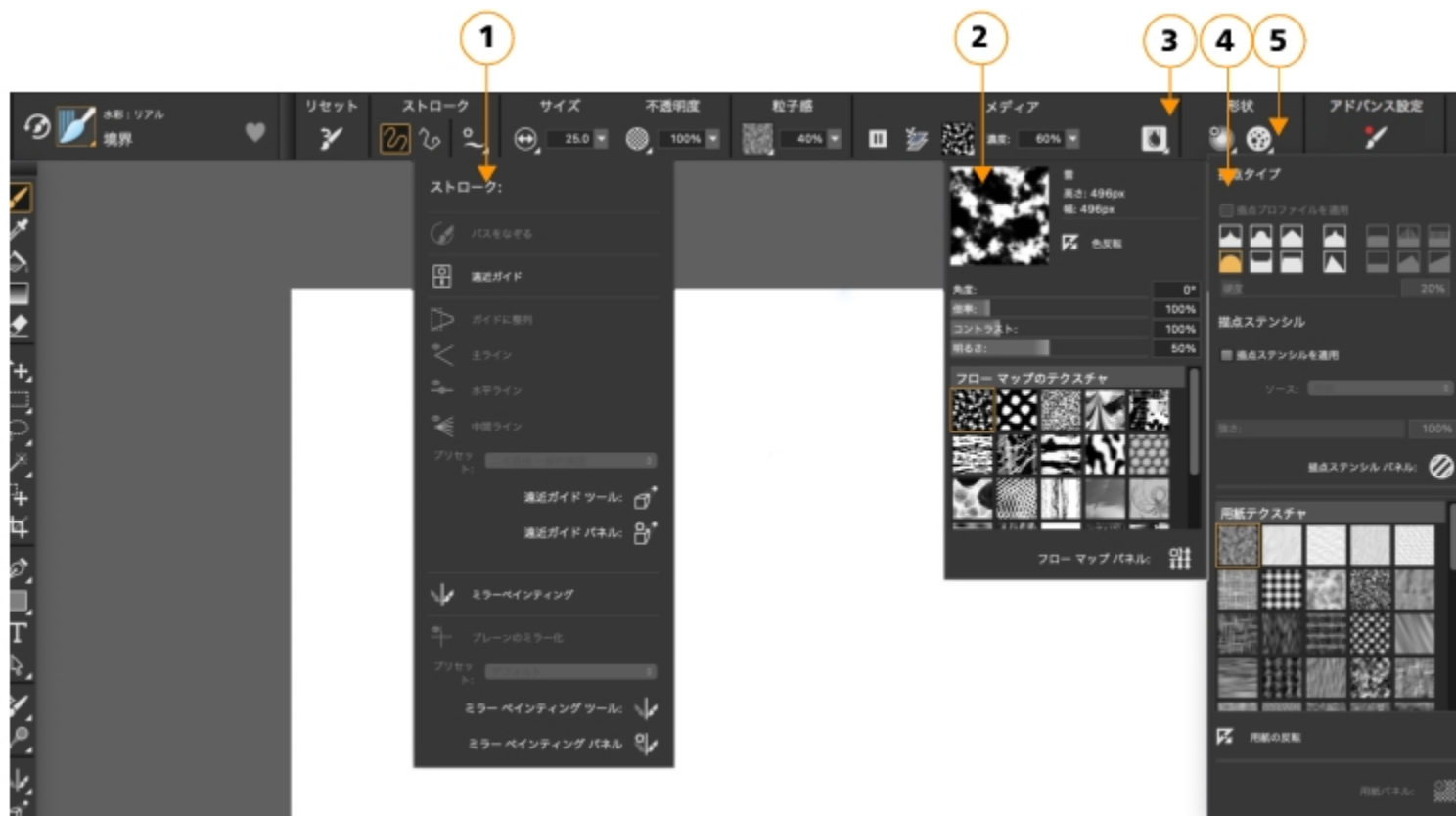
ブラシを変更する

ブラシ ツールを選択している場合、プロパティ バー上でブラシ バリエーションを素早く変更できます。一部の基本的な属性 (サイズや不透明度など) はすべてのブラシに共通していますが、その他の属性は選択したブラシ カテゴリに固有です。






プロパティ バーのコントロールは並べ替えて使いやすくなります。グループ ラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。(1) [リセット] ボタンを使用すると、選択したブラシのデフォルト設定を復元できます。(2、3、4) すべてのブラシに共通のコントロール、(5、6、7) ブラシ固有のコントロール、(8) [詳細 ブラシ コントロール] ボタンを使用すると、アクティブなブラシ バリエーションに関連するパネルにアクセスできます。

プロパティ バーには、選択したブラシ カテゴリやブラシ バリエーションに応じたフライトアウトが用意され、アクティブなブラシやツールに関連してよく用いられる機能にアクセスできます。





リアル水彩ブラシ バリエーションのプロパティ バー: (1) [ストローク] フライトアウト、(2) [フロー マップ] フライトアウト、(3) [リアル水彩] フライトアウト ボタン、(4) [描点オプション] フライトアウト、(5) [プリズム] フライトアウト ボタン、アイコンの背景の形は用途を示しています。正方形の背景 (4) は、ブラシのメディアのプロパティを変更する設定にアクセスできることを示します。丸い背景 (4、5) のアイコンでは、ブラシの形状を制御する設定にアクセスします。

基本的なブラシ属性を設定するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- 3 ブラシ カテゴリとブラシ バリエーションをクリックします。
- 4 プロパティ バーで以下のいずれかの操作を行います。
 - ブラシ サイズを設定するには、**[サイズ]** スライダー  を動かすか、**[サイズ]** ボックスに値を入力します。
 - ブラシストロークの不透明度を設定するには、**[不透明度]** スライダー  を動かすか、**[不透明度]** ボックスにパーセント値を入力します。



[サイズ] ライブラリからサイズ プリセットを選択して設定することもできます。プロパティ バーで **[サイズ]** フライアウト ボタン  をクリックし、**[サイズ ライブラリ]** ボタン  をクリックし、**[ブラシ サイズ]** パネルのプリセットをクリックします。

右の角カッコ (]) キーを押してブラシのサイズを大きくしたり、左の角カッコ ([) キーを押してブラシのサイズを小さくしたりすることもできます。

ブラシ ツールがアクティブになっている場合は、数字キーで不透明度を設定できます。各数字キーはそれぞれ、固定のパーセンテージに対応しています。たとえば、1 キーは 10%、5 キーは 50%、0 キーは 100% の不透明度を指定できます。

ブラシ カテゴリについて

Corel Painter 2022 には多数のブラシ カテゴリが用意されており、各カテゴリ内には多数のプリセット ブラシ バリエーションが存在しています。

カスタム ブラシを作成する

Corel Painter の充実したブラシ ライブラリに用意されているブラシ バリエーションをそのまま選択する以外に、**[一般]** ブラシ コントロール パネル内でブラシ バリエーションを変更することも可能です。コントロール パネルでは以下の項目を設定できます。

- **[描点の種類]** - メディアをキャンバスにどのように適用するかを設定します。
- **[ストロークの種類]** - ブラシストロークをメディアにどのように適用するかを設定します。
- **[手法]** および **[サブカテゴリ]** - 手法は、あらゆるブラシ バリエーションの動作を最も基本的なレベルで決定付ける設定です。手法とそのサブカテゴリは、ストロークの外観の属性を表します。
- **[ソース]** - ブラシ バリエーションが使用するペイント材料の種類を指定します。

[一般] ブラシ コントロール パネルの使用方法について詳しくは、製品ヘルプの「[一般コントロール](#)」を参照してください。



[一般] ブラシ コントロールパネルを表示するには

- **[ウィンドウ]** ▶ **[ブラシコントロールパネル]** ▶ **[一般]** を選択します。

ツールボックスについて

ツールボックス内のツールは、ペイント、線やシェイプの作成、シェイプの塗潰し、書類の表示と操作、選択範囲の指定などに使用できます。

以下の表で、Corel Painter ツールボックスのツールを説明します。

ツール	説明
カラー ツール	
	ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。プロパティ バーには、アクティブなブラシに関連して最も一般的に使用される機能が表示されます。詳しくは、「 ブラシを選択、管理、および作成する 」を参照してください。
	スポイト ツール使用すると、既存のイメージから色をサンプリングできます。プロパティバーで色の値を確認できます。 スポイト ツールで色を選択すると、 [カラー] パネルにもその色が示

ツール



説明

されます。詳しくは、「[イメージから色を採取する](#)」を参照してください。

塗潰しツールを使用すると、色、グラデーション、パターン、テキストスタイル、クローンなどのメディアで領域を塗り潰せます。プロパティバーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。詳しくは、「[塗潰しを使用する](#)」を参照してください。

インタラクティブグラデーション ツールでは、キャンバス、選択範囲、レイヤー、チャンネルなどの領域を塗り潰し、グラデーションをイメージに適用することができます。詳しくは、「[グラデーションを適用する](#)」を参照してください。

消しゴム ツールを使用すると、不要な領域をイメージから消去できます。詳しくは、「[イメージ領域を消去する](#)」を参照してください。

選択範囲ツール



レイヤー調整ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。詳しくは、「[\[レイヤー\] パネルを表示する](#)」を参照してください。

変形ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。

長方形選択ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

楕円形選択ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

なげなわツールを使用すると、フリーハンドで選択範囲を指定できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

多角形選択ツールを使用すると、イメージ上のさまざまなポイントをクリックして直線セグメントで囲むことにより、領域を選択できます。詳しくは、「[パスベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。

自由選択 ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。詳しくは、「[ピクセルベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。

ツール



説明

[選択ブラシ] ツールを使うと、ペイントでフリーハンド選択を作成できます。詳しくは、「[ペイントによる領域の選択](#)」を参照してください。

選択範囲調整 ツールを使用すると、**長方形選択**、**楕円形選択**、および**なげなわ**ツールで作成した選択範囲やシェイプから変換した選択範囲を選択、移動、調節できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。

クロップ ツールを使用すると、不要なエッジをイメージから削除できます。詳しくは、「[イメージをクロップする](#)」を参照してください。

整形ツール



ペン ツールを使用すると、直線と曲線のシェイプパスを作成できます。詳しくは、「[直線および曲線の描画](#)」を参照してください。



フリーハンド ツールを使用すると、フリーハンド曲線を描くことでシェイプパスを作成できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。



長方形シェイプ ツールを使用すると、長方形と正方形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



楕円形シェイプ ツールを使用すると、円形と楕円形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



テキスト ツールを使用すると、文字の形をしたイメージを作成できます。**[テキスト]** パネルを使って、フォント、文字のサイズ、およびトラッキングを設定します。詳しくは、「[テキストを追加する](#)」を参照してください。



シェイプ選択 ツールを使用すると、**ベジエ** 曲線を編集できます。このツールを使用して、アンカーポイントの選択や移動、コントロールハンドルの調節を行うことができます。詳しくは、「[シェイプを選択する](#)」を参照してください。



開いているセグメントまたは閉じているセグメントを切断できます。セグメントが閉じている場合は、線またはポイントをクリックすると、シェイプパスが開いた状態になります。詳しくは、「[シェイプセグメントを切断/連結する](#)」を参照してください。



ポイント追加 ツールを使用すると、シェイプパス上に新しいアンカーポイントを追加できます。詳しくは、「[アンカーポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。

ツール



説明

ポイント削除ツールを使用すると、シェイプパス上のアンカーポイントを削除できます。詳しくは、「[アンカーポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント変換ツールを使用すると、スムーズ アンカーポイントからコーナー アンカーポイントへの変換、またはその逆の変換を実行できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。

フォト ツール



前回使用した [クローン] ブラシ バリエーションに素早くアクセスできます。詳しくは、「[クローンでペイントする](#)」を参照してください。



スタンプ ツールを使用すると、[ストレートクローン] ブラシ バリエーションに素早くアクセスし、1つのイメージ内または複数のイメージにわたって領域をサンプリングできます。詳しくは、「[オフセットのサンプリングを実行する](#)」を参照してください。



覆い焼き ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。



焼き込み ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。詳しくは、「[ミラー ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。



万華鏡 ツールを使用すると、基本的なストロークを、カラフルで対称的な、万華鏡のようなイメージに変換できます。詳しくは、「[万華鏡ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。

合成ツール



黄金分割 ツールを使用すると、伝統的な構図技法に基づくガイドを使用して構図を決定できます。詳しくは、「[黄金分割ツールを使用する](#)」を参照してください。



レイアウト グリッド ツールを使用すると、キャンバスを分割して、構図の決定に役立てることができます。たとえばキャンバスを縦横それぞれに3等分して、構図の3分割法を適用するこ

ツール

説明

とが可能です。詳しくは、「[レイアウト グリッドを使用する](#)」を参照してください。

遠近ガイド ツールを使用すると、1 点透視、2 点透視、または 3 点透視のガイドを表示できます。詳しくは、「[遠近ガイドを使用する](#)」を参照してください。



ナビゲーション ツール



手のひら ツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。詳しくは、「[イメージを移動する](#)」を参照してください。

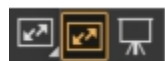


拡大 ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。詳しくは、「[イメージを拡大する](#)」を参照してください。



用紙回転 ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。詳しくは、「[イメージとキャンバスを回転する](#)」を参照してください。

セレクト



表示セレクト ツールを使用すると、書類ビューと表示モードを切り替えられます。詳しくは、「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



ツールボックスはデフォルトで開いていますが、ツールボックスのヘッダー バーの [閉じる] ボタンをクリックして閉じることも可能です。ツールボックスを再び開くには、**[ウィンドウ] ▶ [ツールボックス]** を選択します。

パネルとパレットについて

Corel Painter のインタラクティブ パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。



このパレット引き出しには、関連する 2 つのパネル[グラデーション] と [グラデーション ノード] があります。パネルの内容にアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter のほとんどのパレットにはオプション メニューがあり、関連するコマンドを実行できるようになっています。たとえば、[レイヤー コントロール] パネルのオプション メニューを使用すると、レイヤーのロック、複製、およびグループ化を実行できます。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1)、パレットをパレット引き出しに変換できる [パレット引き出し] ボタン (2)、パネル タブ (3)、関連する一連のコマンドにアクセスできるパネル オプション (4) があります。

次の表に、一般的に使用されるパネルの説明を示します。その他のパネルについて詳しくは、製品ヘルプの「[パネルについて](#)」を参照してください。

パネル

説明

[ブラシコントロール] パネル

[ブラシコントロール] パネルは、[ブラシコントロール] パレットに含まれています。[ブラシコントロール] は複数の [ブラシコントロール] パネルに分かれているため、作業しながらブラシ バリエーションを調節することも、既存のバリエーションを変更して新しいバリエーションを作成することも可能です。

ブラシ バリエーションをカスタマイズできます。詳しくは、「[ブラシ コントロールを使用してブラシを調整する](#)」を参照してください。

[詳細ブラシコントロール] パネル

現在選択されているブラシに関する [ブラシコントロール] パネルのグループを生成します。ブラシの形状やメディアに関するパネルには、[編集] パネルで [形状] および [メディア]

パネル

説明

ショートカットを使用すると素早くアクセスできます。詳しくは、「[ブラシ コントロールについて](#)」を参照してください。

カラーパネル

カラー パネル (フル ビュー) カラー パネル (コンパクト)

メイン カラーおよびサブ カラーを選択して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[\[カラー\] パネルから色を選択する](#)」を参照してください。

ミキサー

[ミキサー] パレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜ合わせることができます。詳しくは、「[\[ミキサー\] パネルと混合コントロールについて](#)」を参照してください。

カラーセットライブラリ

現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。詳しくは、「[カラー セットを使用する](#)」を参照してください。

ハーモニー

ハーモニー ルールを使用して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[カラー ハーモニーを使用する](#)」を参照してください。

[レイヤー] パネルおよび [チャンネル] パネル

レイヤー

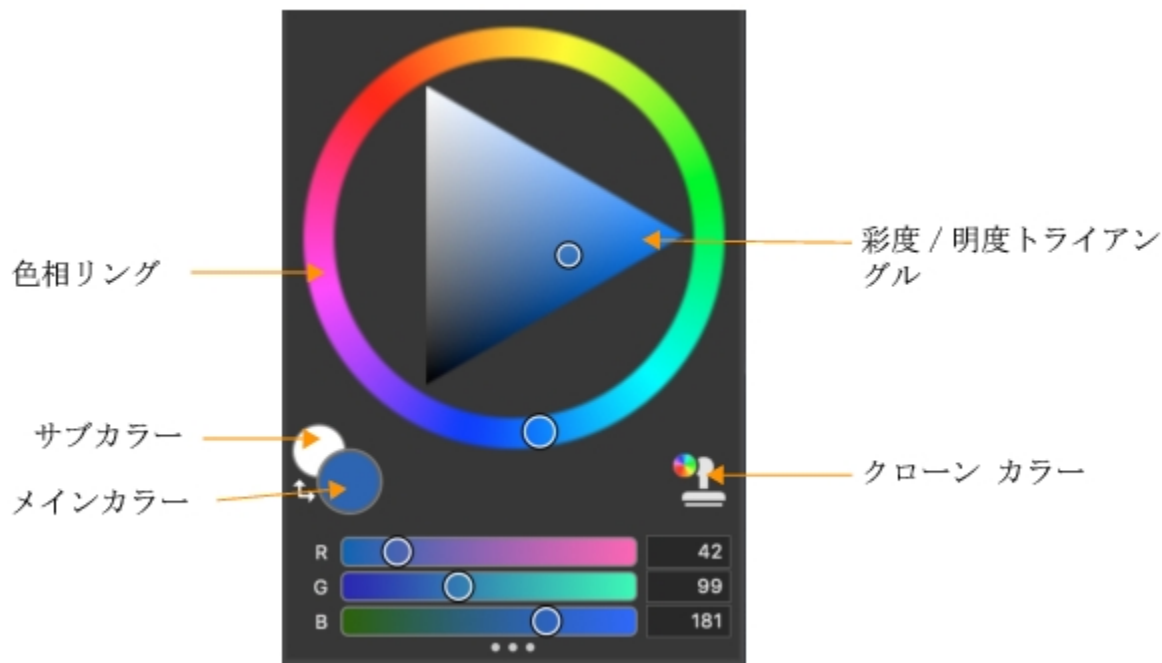
すべてのレイヤーのプレビューと操作が可能で、ダイナミックプラグインの適用、新しいレイヤー (デフォルト レイヤー、シック ペイント レイヤー、水彩レイヤーやリキッド インク レイヤーなど) の追加、レイヤー マスクの作成、レイヤーの削除を実行できます。また、合成方法や奥行き、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。詳しくは、「[レイヤー](#)」を参照してください。

チャンネル

RGB 合成チャンネル、レイヤーマスク、アルファ チャンネルなど、Corel Painter の書類内のすべてのチャンネルがサムネイル形式で表示されます。パネルからは、既存のチャンネルを読み込み、保存、反転することも、新しいチャンネルを作成することもできます。詳しくは、「[アルファ チャンネル](#)」を参照してください。

パネルとパレットを使用する



Corel Painter 2022 を起動すると、**[カラー]** パネルが自動的に開きます。このパネルは、**[ミキサー]**、**[ハーモニー]**、**[カラー セット ライブラリ]**、**[レイヤー]**、および **[チャンネル]** の各パネルとともに 1 つのパレット引き出しにグループ化されています。**[カラー]** パネルには、コンパクトとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、カラー ホイールとスライダの両方が表示されます。コンパクト ビューでは、スライダのみが表示されます。デフォルトでは、**[カラー]** パネル (フル ビュー) にはカラー ホイールと選択しているカラーの情報が表示されますが、これらの要素を隠すこともできます。



[カラー] パネル (フル ビュー)

[カラー] パネル上の情報を隠すには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [カラー パネル] ▶ [カラー パネル (フル ビュー)] を選択します。
- 2 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
カラーホイールを隠す	[カラー オプション] ボタン  をクリックし、[カラーホイール] を選択します。
カラー情報を隠す	[カラー オプション] ボタン  をクリックし、[カラー スライダー] を選択します。

パネルは必要に応じて簡単に表示でき、作業が終了したら素早く閉じることができます。

パネルまたはパレットを表示する/隠すには

- [ウィンドウ] ▶ をクリックし、目的のパネル名を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

パレットの配置は、カスタム作業領域レイアウトとして保存することにより、後で再利用できます。また、不要になった時点で、そのカスタム作業領域レイアウトを削除できます。

作業に合わせて、パネルの表示を並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。またパレットは随時カスタマイズでき、パネルを追加または削除する、パネルの位置を変更する、パネルを別のパレットに移動するなどの操作が可能です。

パネルをパレットにグループ化する

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パネルをパレットにグループ化する	パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。
パネルをパレットに追加する	パネルをパレットにドラッグします。
パレットからパネルを削除する	パネルをパレットの外にドラッグします。
パレット内のパネルの位置を変える	パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除すると作業領域から切り離されて移動できるようになります。

パレットやパネルをドッキング/ドッキング解除するには


- 以下の表を参考にして操作を行います。


目的	操作内容
パレットをドッキングする	パレットのヘッダー バーをアプリケーション ウィンドウの縦方向の縁にドラッグします。パレットとウィンドウの端と端が並ぶと吸着されます。
パレットのドッキングを解除する	パネルのタブの右側の空き領域を Corel Painter ウィンドウの端から離すようにドラッグします。
パネルをドッキングする	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウの垂直の端にドラッグします。パネルの端とウィンドウの端が並ぶと吸着されます。
パネルのドッキングを解除する	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウから離すようドラッグします。

パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。同時に、パレット引き出しを通常のパレットに戻すこともできます。パレット引き出しは、他のパレット グループと同様にサイズ変更や位置変更が可能です。

パレット引き出しを使用するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレット引き出しを作成するには	パレット ヘッダー バーの [パレット引き出し] 切り替えボタン  をクリックし、 [パレット引き出し] をクリックします。
	パレット引き出しを通常のパレットに戻すには、直前の手順を繰り返します。

目的	操作内容
パレット引き出しを広げる/たたむには	パレット引き出しのヘッダー バーをダブルクリックします。
パレット引き出しを隠すには	ヘッダー バーの 【閉じる】 ボタン  をクリックします。
パレット引き出しを表示する	【ウィンドウ】 ▶ 【パレット引き出し】 ▶ をクリックし、目的のパレット引き出し名を選択します。

カスタム パレットを作成する

Corel Painter では、必要な機能だけを含むカスタム パレットを作成できます。カスタム パレットを使用すると、目的の機能に素早くアクセスできます。たとえば、[ブラシライブラリ] パネルや [メディアライブラリ] パネル内のアイテムを、カスタム パレットに入れることが可能です。また、メイン メニューやパネル オプションのコマンドもカスタム パレットに追加できます。詳しくは、製品ヘルプの「[カスタム パレットを作成/変更する](#)」を参照してください。

カスタム パレット上でのアイテムの表示方法を変更することも可能です。たとえば、テキスト、アイコン、または大きなアイコンとしてアイテムを表示できます。

カスタム パレットを素早く作成するには

- **Shift** キーを押し、次のいずれかの操作を行います。
 - **【ブラシ セレクタ】** パネルから書類ウィンドウにブラシ バリエーションをドラッグします。
 - **【用紙】** ライブラリ (**【ウィンドウ】 ▶ 【メディア パネル】 ▶ 【用紙】**)、**【フロー マップ】** ライブラリ (**【ウィンドウ】 ▶ 【メディア パネル】 ▶ 【フロー マップ】**)、またはその他の **【メディア】** パネル (**【ウィンドウ】 ▶ 【メディア パネル】 ▶ 【テクスチャ】**、**【パターン】**、**【グラデーション】**、**【ノズル】**、**【模倣】**、**テキストスタイル ライブラリ パネル**) のいずれかから書類ウィンドウに、用紙、フロー マップ、メディア ライブラリのサムネイルをドラッグします。

メニュー コマンド、コントロール、またはツールをカスタム パレットに追加するには

- 1 **【ウィンドウ】 ▶ 【カスタムパレット】 ▶ 【メニューコマンドの追加】** を選択します。
- 2 **【カスタム パレットの選択】** リスト ボックスから **【新規】** を選択し、新しいパレットを作成するか、既存のカスタム パレットを選択します。
- 3 表示される **【パレットの作成/コマンドの追加】** ダイアログ ボックスで、次の表のタスクを実行します。

追加するもの	操作内容
メニュー アイテム	メニュー アイテムをデフォルトの Corel Painter メニューから選択します。
その他のコントロール	メニュー アイテムを 【その他】 メニューから選択します。
パネル、またはパネルのオプション フライアウト メニューに含まれているアイテム	メニュー アイテムを 【パネル メニュー】 メニューから選択します。
ツールボックス ツール	メニュー アイテムを 【ツール】 メニューから選択します。
開いたパレットからのアイテム	アイテムをクリックします。
4 【パレットの作成/コマンドの追加】 ダイアログ ボックスで、 【追加】 をクリックし、 【OK】 をクリックします。	

ワークフローを選択する

Corel Painter にはオリジナル アートワークを作成したり、制作スタイルに適したワークフローを使用したりする上で役立つ、さまざまなツールと機能が用意されています。

たとえば、Corel Painter のパワフルなクローン作成ツールを使用すると、デジタル フォトを素早くペイントに変換できます。またトレーシング ペーパー機能を使用して、フォト ベースのペインティングを開始することも可能です。トレーシング ペーパーを使用すると、クローン書類の下に半透明のソース イメージが表示され、キャンバスにクローン カラーを正確に適用できます。

実際の画材で描いたスケッチを出発点としたい場合は、スケッチをスキャンして、Corel Painter 上でデジタルに仕上げられます。また、用紙テクスチャとブラシを選択してキャンバスに色を適用することで、Corel Painter 上でプロジェクトを一から開始することも可能です。

フォトアート: フォト ペインティング

Corel Painter を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。ソース イメージとして使用するフォトを用意するだけで、簡単に作業を開始できます。フォト アート作業領域レイアウトには、フォトペインティングに関連するパレットとツールだけが表示されます。



さまざまなプリセット スタイルを使用して、写真をペイントに変換することができます。

Corel Painter には、写真などの既存のイメージをアート作品に変身させることができる、パワフルなイメージ クローン作成ツールがあります。クイック クローン機能を使うと、画像のクローンを作成するために必要なすべてを自動的に設定することや、空の書類から始めて 1 つまたは複数のクローン ソースを追加することができます。クローン ソースは、ブラシの色の参考に使われるものです。クローン ソースの色のクローンを作成し (色のコピー)、これを目的のキャンバスに適用します (書類のクローンを作成)。クローン ソースは埋め込むことも埋め込まないこともできます。クローン ソースを埋め込むと、そのクローン ソースは書類とともに保持され、ペイント中にクローン ソース間を素早く切り替えることができます。画像、テクスチャ、パターンをクローン ソースとして使うことができます。写真をペイントに変換したい場合など、クローン ソースを 1 度しか使わない場合は、画像として埋め込むことができます。クローン アセットをクローン ソースとして複数のプロジェクトで再利用する場合は、テクスチャまたはパターンとしてそれぞれ [テクスチャ] または [パターン] ライブラリに保存することができます。Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。目的に合うように構図のコンテキストでテクスチャを簡単に変形させることができます。クローンについて詳しくは、製品ヘルプの「[イメージのクローン作成と採取](#)」を参照してください。

合成イメージを作成する場合のフォト ペイントのワークフローとして考えられるものは数多くありますが、ここではそのうちのひとつを説明します。Karen Bonaker 氏が手がけたペイントを例にして、埋め込み画像とテキストをクローン ソースとして使う方法を紹介します。オリジナルのデジタル アートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

さらに Corel Painter には自動ペインティング ツールが用意されており、デジタル イメージまたはスキャンしたフォトに基づくペインティングを効率よく作成できます。これらのツールを使用する上で、デジタル アートに関する経験は必要ありません。詳しくは、製品ヘルプの「[写真を自動ペインティングする](#)」を参照してください。


フォト アート作業領域レイアウトを表示するには

- **[ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [フォト アート]** を選択します。

クイック クローンを使用してイメージのクローンを作成するには

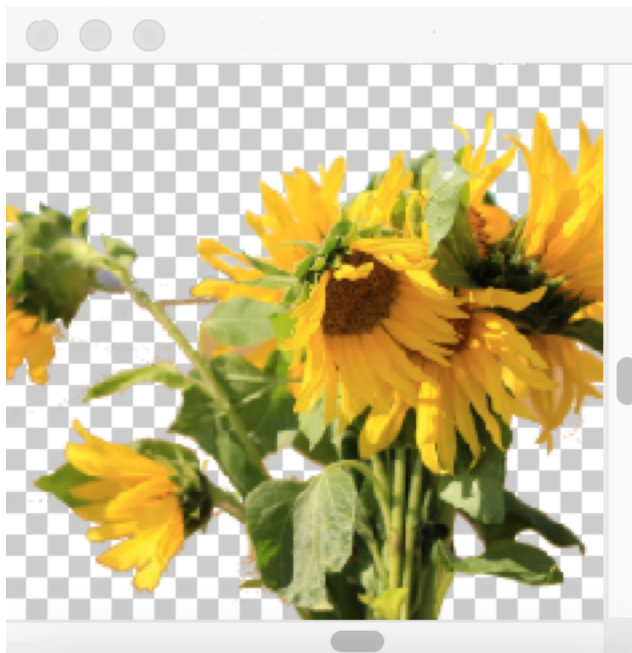
- 1 クローンの作成元になるイメージを開きます。
- 2 **[ファイル] ▶ [クイッククローン]** を選択します。
- 3 クローン ブラシを使用し、キャンバスにブラシストロークを適用します。
ペイント中にトレーシング ペーパーのオン/オフを切り替えるには、**[キャンバス] ▶ [トレーシング ペーパー]** を選択します。



他のブラシ カテゴリからブラシを選択して、これを設定して色のクローンを作成することもできます。この場合は、**[カラー]** パネルの **[クローンカラー]** ボタン  をクリックします。


書類にクローン ソースを追加するには

- 1 書類を開くか作成します。

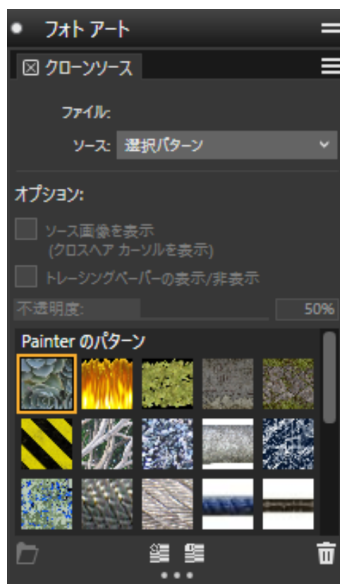


Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。この例では、Karen Bonaker 氏が透明な PNG を使用しています。

- 2 **[クローン ソース]** パネル (**[ウィンドウ] ▶ [クローン ソース]**) で、**[ソース]** リスト ボックスから **[埋め込みイメージ]** を選択します。**[埋め込みソースイメージ]** ダイアログ ボックスで、**[現行のドキュメント]** オプションを有効にし、開いた書類のリストからクローンを作成したい書類を選択します。

ヒント: 画像を追加で埋め込むには、**[埋め込みソースイメージ]** ボタン  をクリックし、**[ブラウズ]** をクリックします。使用する画像が含まれているフォルダを特定し、**[開く]** をクリックします。

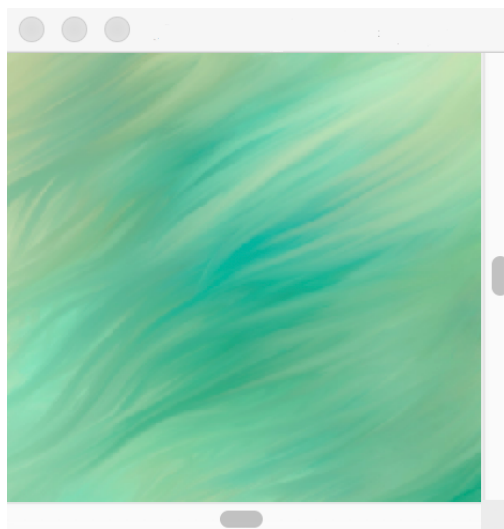
- 3 テクスチャをクローン ソースとして追加するには、**[クローン ソース]** パネルで、**[ソース]** リスト ボックスから **[テクスチャ]** を選択します。リストのテクスチャのサムネイルをクリックします。テクスチャを書類ウィンドウに表示する場合は、**[テクスチャを表示]** チェック ボックスをオンにします。



[テクスチャ] ライブラリにインポートし、ペイントまたは写真のコラージュでクローン ソースとして使います。

ヒント: テクスチャのクローンを作成する前に、構図やコンセプトに合うように見た目を修正することができます。ヘルプで**テクスチャの修正**の詳細を確認してください。

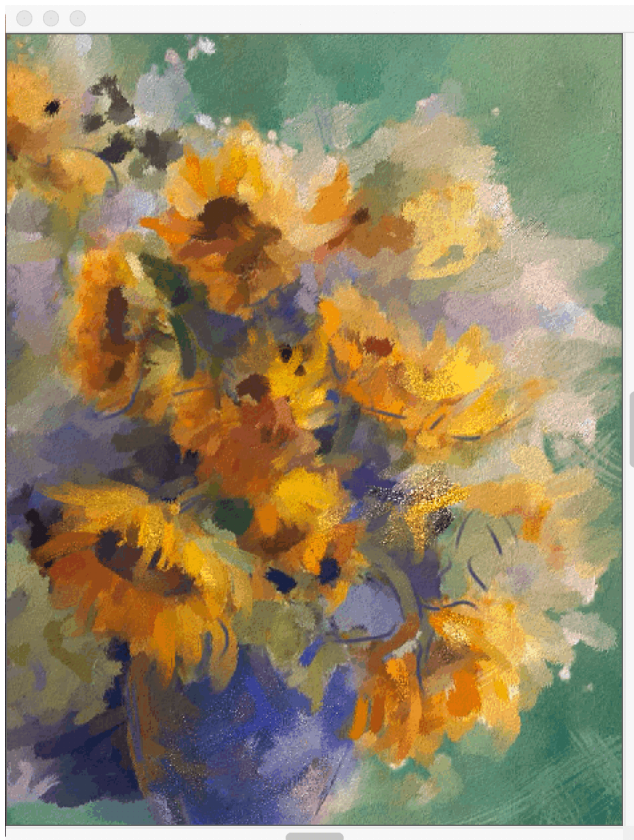
- 4 **[ブラシ セレクタ]** パネル (**[ウィンドウ]** ▶ **[ブラシ セレクタ]** ▶ **[パネル (フル ビュー)]**) で、**[クローン]** カテゴリからブラシを選択します。
- 5 クローン書類でペイントしてテクスチャのクローンを作成します。



この例では、Karen Bonaker 氏がカスタム テクスチャを使用しています。

ヒント: テクスチャをクローン書類に埋め込んで今後使うことができるように書類とともに保存するには、**[クローンソース]** パネルで、テクスチャのサムネイルを右クリックするか (Windows)、**Control** キーを押しながらテクスチャのサムネイルをクリックし (macOS)、**[クローンソースイメージとしてのテクスチャの埋め込み]** をクリックします。

- 6 埋め込みソースの画像に切り替えるには、**【クローンソース】** パネルで、**【ソース】** リスト ボックスから **【埋め込みイメージ】** を選択します。
- 7 クローン書類でペイントして画像のクローンを作成します。描画時には、**【クローンソース】** パネルの **【トレーシングペーパーの表示/非表示】** チェック ボックスをオン/オフにすることで、トレーシング ペーパーのオン/オフを切り替えられます。




Karen Bonaker 氏が手がけたこのペイントでは埋め込み画像とテクスチャがクローン ソースとして使われています。



クローン ブラシ カテゴリ内のその他のバリエーションも試してみてください。



[クローン] ブラシ カテゴリのブラシ バリエーションの例。

他のブラシからクローン ブラシに切り替えるには、[カラー] パネルの[クローンカラー] ボタン  をクリックします。

フォトアート: トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 トレースしたい写真またはその他のアートワークを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 [クローンソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローンソース]) で [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスがオンになっていることを確認し、[クローン カラー] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [ブラシ メディア] ▶ [クローン カラー]) で [クローン カラーを有効にする] チェック ボックスをオフにします。
ペイント対象の元の写真を視覚的な参照として確認することができますが、ペイントに使用するカラーを選択できます。
- 4 下にあるイメージを参照しながら、キャンバス上にイメージのアウトラインを描きます。

スタイラスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変えるには、[クローンソース] パネルの [不透明度] スライダーを動かします。トレーシング ペーパーをオフにするには、[トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオフにします。

スキャンしたイラストを出発点とする

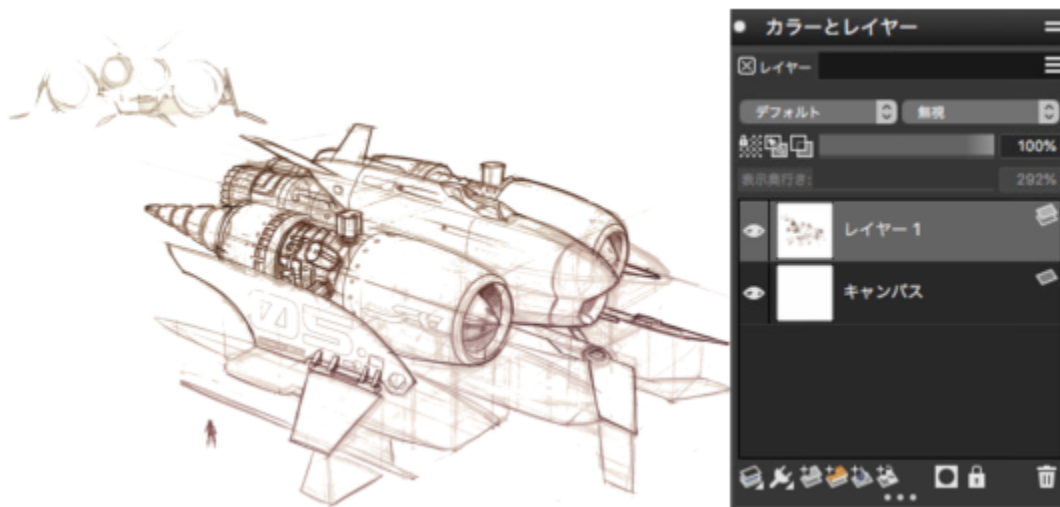
Corel Painter では、紙と鉛筆で描いた作品を簡単にデジタル化できます。今でも多くのグラフィック プロが、まずはイラストを手描きした上でスキャンし、そのイメージを Corel Painter にインポートする手法を好んでいます。

最初に、何らかの画材と紙を使用して描いたスケッチをスキャンし、JPEG 形式または TIFF 形式のファイルに保存する必要があります。

スキャンしたイラストを配置するには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] を選択して、スキャンしたイメージの配置先となる書類を作成します。
- 2 [新しいイメージ] ダイアログ ボックスで、スキャンしたイメージとほぼ同じ寸法になるように、書類の幅と高さを指定します。


- 3 **[ファイル]** ▶ **[配置]** をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。
スケッチの場所に表示されるスキャンのアウトラインを使用することができます。
- 4 輪郭が正しい位置にあるときに書類をクリックするか、**[配置]** ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。
スキャンしたスケッチが新しいレイヤーになります。



アートワーク制作:Dwayne Vance


スケッチをスキャンまたは撮影すると、カラー スキャナが拾った汚れや照明の映り込みなどの問題が生じることがあります。これらの問題は、キャンバスを非表示にして合成方法を変え、下にあるイメージとレイヤーのブレンド方法を調節することで簡単に修正できます。たとえば、レイヤーの合成方法を **[フィルタ]** に変えると、透明な背景上にスケッチが表示されるようになります。この方法では、白い部分がすべて透明になります。

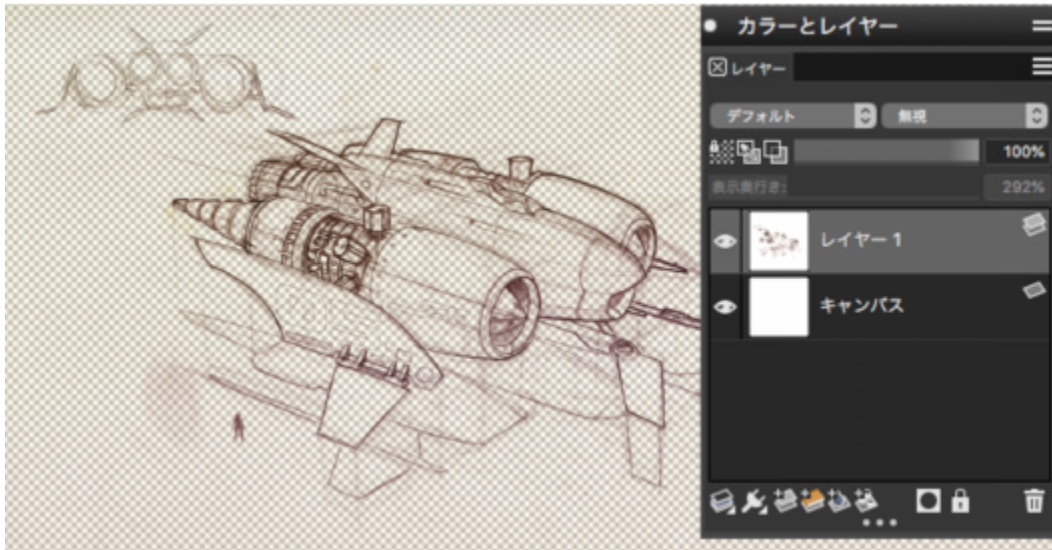
スケッチの背景を透明にするには

- 1 **[レイヤー]** パネルで、キャンバスの隣にある目のアイコン  をクリックします。
- 2 スケッチ レイヤーを選択し、**[合成方法]** リスト ボックスから **[フィルタ]** を選択します。



最初に白以外の色でキャンバスを塗り潰すことにより、キャンバスが表示されているときにフィルタ モードで作業を行うことも可能です。この場合はキャンバス上でのペイントが可能のため、スケッチの下でペイントを行うことができます。この方

法を選択すると、スケッチの大部分を素早くペイントしてから**消しゴム** ツール  でクリーンアップできるため、多くのグラフィック プロが利用しています。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スキャンしたスケッチを新しい書類内に配置するのではなく、スキャンしたファイルを Corel Painter 内で直接開くことも可能です。この場合は書類のサイズ指定を当て推量で行う必要がありません。なお開いたスキャン ファイルは、キャンバス上にマウントされる点に留意してください。作業をより柔軟に行うために、キャンバスから専用のレイヤーに移動することをお勧めします。

スキャンしたイラストを開くには





- **[ファイル] ▶ [開く]** をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。

キャンバスからレイヤーに変換するには




- 1 **[レイヤー]** パネルで、キャンバスを右クリックし、**[キャンバスを水彩レイヤーに変換]** を選択します。
水彩レイヤーのデフォルトの合成方法は **[フィルタ]** です。
- 2 水彩レイヤーをダブルクリックし、テキスト ボックスに「**Sketch**」と入力します。
- 3 水彩以外のブラシ カテゴリに含まれるバリエーションを使用したい場合は、レイヤーを右クリックし、**[デフォルト レイヤーに変換]** を選択します。


参照用として、シェイプおよび選択範囲を使用してスケッチ上に線画を追加することもできます。あるいは線画を専用のレイヤーにコピーした上で、ペインティングに組み込むことも可能です。別のテクニックとして、スキャンしたスケッチを出発点とする場合にデザイン プロが多用するのが、スケッチの一部分を複製したシェイプの作成です。このシェイプにブラシストロークを加えたり、塗り潰したりすることも可能です。


シェイプを使用してスケッチを複製するには

- 1 ツールボックス内の以下のツールを使用して、スケッチの一部分を複製するシェイプを作成できます。
 - **ペン ツール**  を使用すると、オブジェクト内に直線と曲線を作成できます。
 - **フリーハンド ツール**  を使用すると、フリーハンド曲線を使用してシェイプ パスを作成できます。このツールはスケッチの各領域をトレースするのに最適です。
 - **長方形シェイプ ツール**  を使用すると、長方形と正方形を作成できます。
 - **楕円形シェイプ ツール**  を使用すると、円形と楕円形を作成できます。



2 ツールボックス内の以下のツールを使用すると、スケッチの一部分をよりきめ細かく複製できます。

- **シェイプ選択** ツール  を使用すると、アンカー ポイントを選択して動かし、コントロール ハンドルを調節できます。
- **ポイント追加** ツール  を使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。
- **ポイント削除** ツール  を使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。

シェイプ レイヤー上ではペイント操作ができないため、シェイプの外観を納得いくまで調整できたら、そのレイヤーを選択し、**[レイヤー]** パネルの **[新規レイヤー]** ボタン  をクリックしてシェイプ レイヤーの上にレイヤーを作成します。

3 ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックします。


4 **[ブラシ セレクタ]** バーの **[ブラシ セレクタ]** をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエーションを選択します。

5 プロパティ バーで **[ストロークのオプション]** フライアウト ボタン  をクリックし、**[パスをなぞる]**  をクリックします。

パスまたはシェイプの許容幅の範囲内にブラシがある限り、自動的に輪郭に沿って描画されます。

6 **[レイヤー]** パネル内で、シェイプ レイヤー上に追加したレイヤーを選択し、ペイントします。



閉じたシェイプを使用する場合は、それらのシェイプを **塗潰し** ツール  で塗り潰せる選択範囲に変換できます。最初に目的のシェイプを選択し、**[シェイプ]** ▶ **[選択範囲に変換]** を選択します。

一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントする場合は、最初にキャンバス サイズ、解像度、および方向を設定します。キャンバス サイズと解像度を設定するときには、イメージ サイズが大きいほどより多くのイメージ詳細データを保持でき、イメージの縮小版を生成する必要が生じた場合にも画質を維持しやすいということを心に留めておいてください。詳しくは、「[解像度について](#)」と「[イメージとキャンバスのサイズを変更する](#)」を参照してください。

本書では、著名な Corel Painter マスターであるマイク トンプソンの作品をガイドとして使用しています。オリジナルのデジタル アートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

ペインティングの準備をするには

- 1 **[ファイル]** ▶ **[新規]** をクリックし、任意のオプションを選択してキャンバスをセット アップします。
- 2 **[解像度]** ボックスに値を入力します。
サンプル イメージでは、解像度を 200 dpi に設定しています。
- 3 **[単位]** リスト ボックスで測定単位を選択し、イメージの幅と高さを設定します。



このサンプル イメージでは測定単位にインチを使用しており、幅が 10 インチ、高さが 12 インチに設定されています。

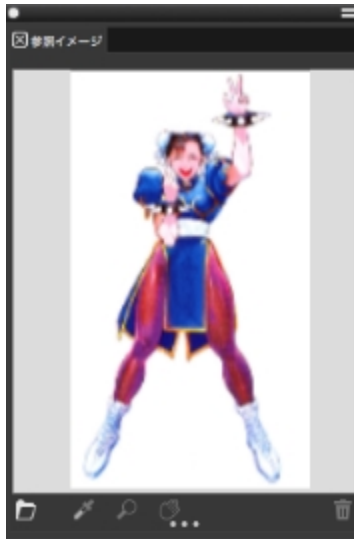
- 4 **【キャンバス カラー】** セレクタをクリックして、カラー ピッカーからカラーを選択します。
サンプル イメージでは白を使用しています。
- 5 **【用紙】** セレクタをクリックし、**【用紙】** パネルから用紙テクスチャを選択します。
サンプル イメージでは、**【ベーシックペーパー】** を使用しています。




すばやく開始するために、**【新規イメージ】** ダイアログ ボックスから直接、シック ペイント レイヤー、水彩レイヤー、またはリキッド インク レイヤーを作成し、キャンバスの可視性と方向を設定し、カラー プロファイルを選択することができます。

キャンバスの最大サイズは、16,382 x 16,382 ピクセルです。パフォーマンス問題の発生を避けるため、作業開始時のキャンバス サイズは 16,382 x 16,382 より小さく設定してください。これはエッジの近くでペイントや効果を適用した場合に、レイヤーが拡張される可能性があるためです。

フォト、デザイン、または別のデジタル アートをベースにしてペインティングを開始する場合は、**【参照イメージ】** パネルを使用することで、インスピレーションの元となったビジュアル ソースを見ながら作業を行えます。これはワークフローを中断することなく、アートワークの向上に役立つ微妙なニュアンスを捉える上で効果的な方法です。パネルのサイズを変更するには、右下隅からドラッグします。**【参照イメージ】** パネルでは、イメージから色を採取する、イメージの位置を変える、拡大/縮小表示するといった操作も可能です。




参照イメージを表示するには

- 1 **【ウィンドウ】** ▶ **【参照イメージ】** を選択します。
- 2 **【参照イメージ】** パネルで、**【参照イメージを開く】** ボタン  をクリックします。
- 3 **【参照イメージを開く】** ダイアログ ボックスで、開くファイルの名前を検索して選択します。
開くことができる参照イメージは、JPG、PNG、RIFF、および PSD のファイル形式で保存されている必要があります。
- 4 **【開く】** をクリックします。



【参照イメージ】 パネルで複数レイヤーを含む RIFF、TIFF、または PSD 形式のファイルを開くと、すべてのレイヤーが結合されます。


参照イメージから色を採取するには、**スポイト ツール**  をクリックし、採取したい色の位置までカーソルを動かしてクリックします。カラー タイルが、スポイト ツールで選択した色に変わります。

書類のセット アップが完了したら、ブラシと色を選択してペインティングを開始できます。Corel Painter では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Corel Painter のブラシは、油彩や水彩だけでなく、鉛筆、ペン、パステルなど、多種多様な画材でペイント/描画することが可能です。

ブラシ バリエーションとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別にブラシ セレクタに保存されています。詳細は、[17 ページの「ブラシを選択/変更する」](#)。を参照してください。

ブラシ バリエーションはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。多くのアーティストが、ブラシ バリエーションのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークの用紙テクスチャに対する反応) などの項目を微調整して使用しています。これらの設定はプロパティ バーにあります。

ブラシを選択し、色を変更するには



- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーでブラシ カテゴリを選択し、ブラシ バリエーションを選択します。
サンプル イメージでは、Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [ソフト 2B 鉛筆] を選択しています。
- 3 色を変更するには、**【カラー】** パネルの **【色相リング】** をドラッグし、使用する色の範囲を表示してから、**【彩度/明度トライアングル】** をクリックして色を指定します。

[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値 (白) で、一番下は最小値 (黒) を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。

このサンプル イメージでは、Mike は明るい青色を選択しています。

ペインティング作業を一から開始する場合は、ペインティングの各要素をそれぞれ個別のレイヤーに配置することをお勧めします。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。また、あるレイヤーをスケッチとして使用し、そのスケッチをトレースすることで別のレイヤー上により詳細で正確なイメージを描くことも可能です。

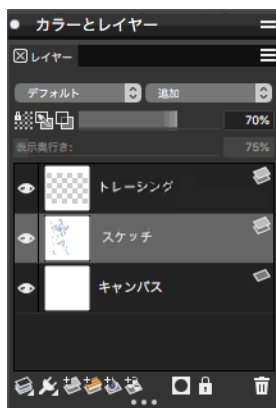
レイヤーを追加/管理するには

- 1 [レイヤー] パネル ([ウィンドウ] ▶ [レイヤー]) で、[新規レイヤー] ボタン  をクリックし、スケッチ レイヤーを作成します。
- 2 [レイヤー] パネルの新規レイヤーをダブルクリックし、「Sketch」と名前を付けます。
- 3 ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックし、ペインティングのベースになるラフ スケッチを作成します。



アートワーク作成者: マイク トンプソン

- 4 トレーシング レイヤーとして使用する新しいレイヤーを作成し、「Tracing」と名前を付けます。
- 5 Sketch レイヤーを選択して、[不透明度] スライダを 70% の位置に動かします。



- 6 トレーシング レイヤーを選択し、別のブラシ バリエーションと色を選択して、スケッチをベースにしたより明瞭なラインによる描画を開始します。



Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆] を選択しています。アートワーク作成者: マイク トンプソン

スケッチをトレースし終わったら、Corel Painter 2022 によるさまざまな機能を活用してペインティングを仕上げることができます。



アートワーク作成者: マイク トンプソン

Mike はこのペインティングを仕上げるために、[塗潰しツール](#)、[\[油彩\]](#) および [\[ブレンド\]](#) ブラシ カテゴリ内のブラシ、[ミキサーパッド](#)上で混ぜ合わせた色、およびその他のさまざまな機能を活用しています。

[このペインティングのより詳しい作成方法](#)、または[マイク トンプソンに関する詳細情報はオンラインで入手できます](#)。

その他のリソース

以下に示す Corel Painter のオンライン リソースで詳細な製品情報を入手していただけます。また、Corel Painter のコミュニティにもご参加ください。

リソース

アクセス先

Corel Painter Web サイト

<http://www.painterartist.com>

Corel Painter チュートリアル

<http://www.youtube.com/user/PainterTutorials>

Twitter の Corel Painter ページ

<http://www.twitter.com/corelpainter>

Facebook の Corel Painter ページ

<http://www.facebook.com/corelpainter>

Corel Painter ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。